

委員會の設置と廢兵職業問題の調査
地方官の職務
諮問事項

政務院長官より任命せられたる廢兵調査委員會は、同年五月四日、地方政務院長官に對し、左の報告を爲せり。

A 緒言

- 一、諮問事項は大略左の如く分類せらるべし。
- (イ) 廢兵の健康恢復の爲執るべき最善の方法。
- (ロ) 廢兵の境遇を改善し、其の勞働能力を増進せしむべき方法に依る外科手術上の設備。
- (ハ) 以前従事したる職業に復歸すること能はざる場合に於ては、何等か他の新規なる職業に従事し得る爲、之に適當せる訓練を與ふるの設備。
- (ニ) 健康の恢復したる場合に於て、之に適當せる職業を授くるの設備。

廢兵に生業を興ふるは國家の責任

個人及團體の援助を要す

二、最初に調査委員等の意見を陳ぶれば、戦争に因り廢疾となれる陸海軍々人を救護するは、國家の負擔すべき義務の第一として數ふべきものに屬し、此の義務たる、決して國庫より支辨する恩給金の下付に依りて、消滅すべきものと看做すべからずといふに在り。隨て出來得る限り廢兵の健康恢復を圖り、又其の境遇と身體上の状態とに最も適應せる職業を選び、生計を營ましむるやう、之に保護獎勵を加ふる事は、國家の責務なりと思考す。

三、調査委員等は、右の意見に加ふるに、更に廢兵の幸福を以て念とする個人又は團體の偉大なる自發的援助を切に希望することを明言し、國家の爲、爾かく苦惱するに至りし、是等廢兵を救護するの責任は、當然國家の負擔すべきものと雖、而かも之が完全なる効果を擧げむと欲せば、須らく關係諸團體の協力援助に俟つべしとの旨を聲明す。

B 陸海軍廢兵の概數

- 四、先づ最初に考慮すべきは、廢疾の爲陸海軍より除隊せらるべき者の數なり。然れども廢兵の數は、戦争の繼續期間、及參加人員の如何に據りて定まるものなれば、現在の戦況に於ては其の概數すら見積ること困難なり。
- 五、唯茲に論すべきものは、戦争の開始以來、實際に除隊せられたる者の數なり。千九百十四年(大正三年)八月四日より

除隊せられたる廢兵の數

廢兵の程度及性質

千九百十五年(大正四年)四月十五日に至るまで約八箇月の期間に於て、戦争の爲廢兵として陸軍より除隊せられたる下士卒の數は、二千八百七十四人にして、同じく海軍より除隊せられたる數は、百三人なりといふ。

次に掲ぐる表は、是等廢兵負傷の程度又は疾病の性質を示せるものなり。

傷病の程度及性質	陸軍		海軍		計
	陸	海	陸	海	
視力傷害	二四五	〇	〇	〇	二四五
脚部傷害(切断の必要ある者)	二〇五	〇	一	〇	二〇六
腕部傷害	一七〇	〇	〇	〇	一七〇
手部傷害	一五	〇	〇	〇	一五
脚部傷害(切断の必要なき者)	二七七	〇	一	〇	二七八
腕部傷害	二二二	〇	〇	〇	二二二
手部傷害	二二四	〇	〇	〇	二二四
頭部傷害	一二三	〇	〇	〇	一二三
頭部傷害	九六	〇	〇	〇	九六
頭部傷害	一二九	〇	〇	〇	一二九
頭部傷害	二九八	〇	〇	〇	二九八
頭部傷害	一一六	〇	〇	〇	一一六
頭部傷害	二八四	〇	〇	〇	二八四
頭部傷害	四七	〇	〇	〇	四七
頭部傷害	五四	〇	〇	〇	五四
頭部傷害	二九	〇	〇	〇	二九
頭部傷害	一三四	〇	〇	〇	一三四
頭部傷害	六	〇	〇	〇	六
頭部傷害	一五〇	〇	〇	〇	一五〇
頭部傷害	二、八七四	〇	〇	〇	二、八七四
其他の雜種	〇	〇	〇	〇	〇
計	二、八七四	〇	一〇三	〇	二、九七七

一箇月の除隊兵概数

六、陸軍最初の除隊は、千九百十四年（大正三年）九月十一日に終れる週間に於て行はれ、開戦後八箇月間に於ける除隊兵は、合計二千八百七十四人にして、一箇月平均約三百六十人の割合なり。然れども現在（千九百十五年、即ち大正四年の五月）に於ける除隊兵の数は、一箇月平均約一千人の割合なり。若し此の割合を以て進まば、開戦後滿一箇年目（大正四年八月）には約七千人、千九百十五年（大正四年）末には、約一萬二千人の除隊兵を見るに至るべし。若し此の割合を一箇月約千五百人と見積るときは、千九百十五年末に於ては、一萬六千人に達すべし。

此の數の中、一部の者は、永久に亘り、且全然生計不能と爲るべきも、他の一部の者は、保護を要せずして、就職することを得べし。

故に實際吾々の取扱ふべき數は、傷病者名簿の人員よりも、遙に少かるべきものと思惟す。

○ 瘵兵の健康及勞働能力恢復策

除隊を決定するの手續

七、現在の規定の下に在りては、陸海軍當局者は、勤務に堪へざる者として、軍隊より免除するに至るまで、瘵兵治療上の取扱に對する責任を有す。然れども取扱の設備に對する責任は、除隊と共に解除せらる。先づ之を軍醫の手に移し、軍醫は其の患者が、果して除隊せしむべき者なりや否やを診斷し、若し除隊せしむべき者なる場合には、之に必要な取扱を爲す。

固より之を決定するには、其の患者が、更に以上の取扱に依りて其の健康及身體上の故障を恢復せしむべきや否やを多く問ふことなく、單に其の者が勤務に復歸するの可能なるや否やに依りて決定せらるべきものなり。

八、政府は此の點に於ける義務に就て、寛大なる解釋を採り、出來得べくむば瘵兵の取扱、及其の健康恢復に就いての責任を負ふべきものなることを提言せり。

九、瘵兵の中には、此の提言を適用すべき種類甚多し。

(イ) 退院後就職に適せしめむが爲、或る特別なる取扱を要する者、患者にして健康恢復の望ある場合には、之をして

健康恢復の見込ある瘵兵の取扱に因る結核病の取扱

必要なる期間だけ軍役より離れ、治療を受けしむるの設備を爲すべきものと思考す。即ち電氣治療を適當とする心臓病、痲瘋質斯、關節炎等の患者は、此の種類に屬す。

提言したる施設は、其の者が除隊の原因と爲れる傷病の再發せし場合には、更に取扱の範圍を擴張せらるべし。

(ロ) 結核病に因り瘵兵と爲れる者。

此の場合に於ては、疾患の存在は通常其の初期に發見せられ、直ちに之が取扱を爲すことを得るが故に、治療の爲には頗る好都合なるべし。

海軍に在りては、特別なる病室の設備ある王立海軍病院に於て、除隊の日まで、結核病者を取扱ふを例とすといふ。

陸軍に在りては、結核に悩める兵士は、一時除隊せしむるを例とす。然れども現今に於ては、勤務に因り疾苦を得たる兵士は、決して之を其の家庭に放還するが如きことなしといふ。即ち斯の如き患者は、先づ第一に大なる陸軍病院に收容し、又或る場合には、種々の民間團體に依り經營せらるゝ療養所に收容せらるべし。而して民間療養所に入院中の費用は、總べて陸軍豫算より支辨せらる。

是等の患者の多數は、千九百十一年の發布に係れる國民保險法の第一部類の下に置かるべき被保險者にして、又同法の下に、療養所の利益を受くべき資格を有する者とす。聞く所に依れば、保險委員は、是等の患者を如何なる場合に於ても、除隊後直に保險基金の經費を以て、療養所に收容すべき特別の準備を爲せりといふ。

然れども其の結核性陸海軍兵士が、國民保險法の下に、療養所の利益を受くる能はざる場合には、收容所に於ける取扱の費用に對する責任は國家に於て之を負擔すべく、其の患者の恢復するまで、又は恢復不可能なる事を宣告せらるゝまで、之を繼續すべきものと思考す。

(ハ) 精神作用に關する者。

軍役に勤務中、精神に不時の障害を來すこと屢々之あるべし。是等の中或者は其の時に於ける精神狀態に就きて、

結核患者の取扱と國民保險との關係

精神障害に因る瘵兵の取扱

癩病を収容するに最良の策に非ざる

外科手術を要する癩病の取扱

義手足を要する癩病の取扱に注意

厳密なる診断を行ひたる上、癩病病院の收容さるべき者と認定せらるべし。然れども此の方法たるや、恢復の爲に適當なる期間を與へたる後に於てのみ行はるべきものたることは、最も希望する所なり。

多くの實例に據りて考ふるに、癩病病院の收容は、患者の恢復を迅速ならしむる方法として最上策にはあらざるべく、又普通の職業に復歸する場合にも、確かに自から一種の偏見を有するに至るべし。或施設に收容すべき最後の手段は、病院又は其の他の施設に於ける取扱を必要とする場合、或は患者が、自己又は他人に對して危害を加ふるが如き虞なきこと明瞭となれるの場合にのみ行はるべし。

(二) 四肢の喪失又は其の他の原因に由りて、職業に復歸する爲、外科手術を要する者。

是等の場合に關する現在の慣例は、十分合理的なり。廢兵の陸軍より除隊せらるる場合には、チエルシー病院の委員に於て、其の健康恢復に必要な手術を行ふ。委員は陸軍豫算の經費を以て、斯る事件を取扱ふ軍醫にして申出づるあらば、如何なる設置と雖喜んで之を爲すべし。醫療上の設備に對する同様の用意は、海軍當局に於ても、亦之を行ふ。

而かも過去數年間に於て、整形外科學の進歩は實に顯著なるものあり。嘗ては廢兵の救助に對する整形技術の設備に關して、今日利用せらるべきほど、特別の知識及技能より、十分なる利益を收めざりしことを思はざるべからず。實に是れ外科術の特別なる部門に屬す。若し之に依りて最良の結果を得らるべきものとせば、老練家の意見を最も必要とすべし。

義手足を要するが如き患者に對しては、其の附添醫師に依りて命ぜらるる普通治療の代りに、有名なる整形外科醫の診断を受け、之に依て患者個人の要求、及其の從事せんとする職業に就き、特別の注意を以て、特別なる治療を爲すこと勤む。

此の目的の爲一人の附添醫の外、更に他の専門醫の治療を必要とす。患者が整形外科術の應用に堪へ得る状態に恢

復せざる以前、退院する者の多くなるに隨ひて、彼等の家庭より適當なる距離以内に於て、相當なる整形外科醫の治療を受ける便宜を得ることは益々必要なり。

D 廢兵の雇傭及職業訓練

十、以上述べたる所は、主として陸海軍廢兵として、其の生活の資料を得しめむが爲にして身體の健康を恢復せしむるかの問題に就き、論議を悉くせるなり。

乃ち更に進んで、彼等が吾人の援助を要望するに際し、如何なる職業を授くべきか、且新規なる職業を習得する必要がある場合には、如何にして之を訓練すべきかの問題を討究せむとす。

十一、廢兵の多數は、疑もなく戦前に於て、彼等が従事したりし職業に復歸せむとするの状態に在るべし。隨て彼等は普通の勞働市場に収集せらるるに至るべし。然るに他の少數者にありては、其の不具なる状態の如何に依り、又は其の他の理由に依り、其の舊職に復することを得ずして、新規なる職業を習得するの必要起るべし。

十二、調査員等の所見を以てすれば、此の種の訓練は、成るべく其の兵士の在住する地方に於て行はるべきを至當なりとす。多くの場合に於て、陸海軍廢兵をのみ收容すべき特殊の學校を設立することは、敢て望ましき事には非ざるべきも若し已に存在せる學校にして、此の目的の爲に利用し得べしとせば、宜しく此の方法を實行すべきなり。

本問題を論議する上に於て、廢兵に對し職業を授くるの問題は、戦争終結の後に及べば、年々に減少すべく、又一時的の目的に對する建物又は器具の設備に要する多額の失費は、之を避くるを得べきことを忘るべからず。

中央職業訓練所の設立は、やがて其の訓練期間中、訓練所の附近に廢兵を移住せしむることを必要とするに至るべく、隨て其の妻子家族と別居せしむるの已むなきに至る場合少しとせず。

十三、念ふに吾人が茲に言及せるが如き訓練の方法は、倫敦及其の地方大都市に於て、或る程度まで地方の教育當局者が、現在の工藝學校、工業學校及商業學校等を利用して、之を企圖することを得べし。而かも其の場合に於て、特定の

廢兵に授けられし職業訓練の方法如何

職業訓練は廢兵に於て如何に

住居の地を如何に

に於て如何に

一人を訓練するが如き職業の選擇は、之が實施の前、責任ある當局者に於て之を決定すべく、且訓練の完了と同時に、適當なる空位の有無如何を、豫め詳細に調査することは、必ずしも必要ならずと雖、而かも希望すべきの事ならずとせず。

地方教育當局者の協力

十四、調査委員等は、地方教育當局者の協力を誘引し、且當局者にして其の地方に在住せる廢兵に對し、必要なる訓練を施すべき地位に在るに於ては、須く此の方法を採用すべきことを提議せんと欲するものなり。地方教育當局者の之無き場合に於ては、上記の如き訓練を施すべき地位に在る私立學校と雖、其の必要に應じ特殊學校の創設に代へ、以て之を利用するを可とす。

吾人の見解に於ては、何人たりとも、彼が全身不具者として、恩給金を受くべき部類に屬するの故を以て、訓練に適せざる者と認むべからず。

十五、學校に於て訓練の施設を爲さざる場合に於ては、之に代ふの策として希望に任かせ、雇主をして廢兵を雇傭せしめ、訓練を爲さしむべし。此の方法の實行し得べきは、極めて稀有の場合に過ぎずと雖、而かも是れ何等訓練の機關を利用することを得ざるの地方に於ては、極めて有効なりと謂ふべし。

職業紹介は中央及地方團體の義務

十六、職業の周旋に關しては、中央及地方團體が、義務として之を企圖すべきものと信ず。其の指名は、下記の次第に依るべし。即ち是等の團體は、各地方に於て、職業に従事せんとする廢兵の爲には、最も便宜多き機關たる労働紹介所と密接なる協力を必要とす。

労働紹介所との連絡

各廢兵が病院より退去するに際し、又は其の以前に於て、其の赴かむとする地方の労働紹介所に、其の姓名を記録するの手續を行ふべし。是れ本人退院の前、直ちに病院に於て其の住居せんとする地方、其の従事せむとする職業及若し其の地方に於ける以前の雇主あるときは、其の雇主の姓名を記入する方法を以て行ふべし。

Ⅱ 中央及地方の施設

十七、調査委員等は、特に重きを置けるの意見として、戦役に従事せるが爲、不具となれる陸海軍人を保護するは、是れ即ち國家の行ふべき義務なりとの主張を、已に開陳せり。然れども是れ極めて多種多様な官能に屬し、廢兵の健康保護、職業訓練の施設、及廢兵に對する職業紹介等を包括す。僅に政府の一省を以てしては、是等の官能を果すの困難なるべきは、明かなり。

十八、兵士の全く除隊するまでは、其の取扱に關する責任は、海軍省又は陸軍省に於て之を負ふべきものとす。然れども除隊後に於ける義務は、當然一般行政省の何れかに於て、之を負ふべきものとす。但第九項(二)に該當する場合に於ては、海軍省又は海軍省の管轄の下に置くべきを希望せざるを得ず。

十九、廢兵に關する幾多の需要に對し、適當なる注意を行ふことを確實ならしめんが爲、現存せる政府官省の命令の下に行動し、且適當なる官廳の手を経て、助力を欲する者に對し、適宜之を扶助するの義務を負ふべき、廢兵保護中央委員の任命を勸告せむとす。即ち第九項(イ)及(ロ)の下に掲げたる場合の如きは、恐らく之を國民傷害保險協議委員の手に委ぬべきものなるべく、第九項(ハ)の場合を處置するには、委員は海軍省又は陸軍省と協同して之を行ふべし。職業訓練は、文部省及地方教育團體の權限に屬すべく、同時に商務局は、労働紹介所の手を経て、求職に關する助力を與ふべし。

廢兵保護に關する事務の分担と廢兵保護委員の組織

二〇、政府官省の管轄範圍内に屬せざる極めて少數の場合には、委員自身に於て之を處理すべし。上記の目的の爲には、其の使途に充つべき資金を要求すべし。

中央委員の組織

二十一、上記の委員には海軍省、陸軍省、商務局、地方政務院、文部省(職業訓練に關し)、農業水産局、國民傷害保險委員、労働者雇主組合、商業組合又は他の労働機關及除隊兵士の爲に職業供給を爲す現存自由機關の代表者を包括すべし。愛蘭及蘇格蘭に於ける特別の必要を勘考して各地方に、副委員又は支部委員を設置し、以て中央委員と協力し、且其の一般指揮に従はしむべし。是等支部委員は、何れも中央委員會に於て代表せらるべし。

中央委員の職權

委員會には、有給秘書及適當なる職員を置くべし。
二十二、委員の職權は、左の如し。

- (イ) 除隊と同時に、若し可能なるときは、其の健康を恢復せしめ、且生活の資を得しむるの目的を以て、總ての療兵の保護及取扱に關する處置を爲すこと。
- (ロ) 病院より退院する時期の接近に關し、速かに報知を爲すこと、及使役に堪ふる兵士の登記を、其の兵士の赴かむとする地方の勞働紹介所と共に、處理すること。
- (ハ) 缺員あるとき其の地位に適應せる療兵をして其の職に就くことを得しめむが爲、官省と通信の交換を行ふこと。
- (ニ) 療兵をして適當なる職に就かしめむとする場合に於ては、豫め其の雇主に對して、公私兩面より申込を爲し、以て其の好意を求むべきこと。
- (ホ) 一般に其の職務履行に關し、及殊に職業の周旋、及雇主との交渉に關して委員を援助する爲、地方委員(必要な場合には)又は地方代表者を指名すること。
- (ヘ) 熟練を要する職業に適するが如き訓練を受くることを希望する兵士に對しての訓練方法を講じ、且之を援助すること、及教育期間中、彼等の生活を支持するの計畫を爲すこと。
- (ト) 療兵を農業及之に關連せる工業に使役するの方策を勸考し、且之を處理すること。
- (チ) 帝國領土内の他の地方に移住することを希望する者の、移住に關する取扱を爲すこと。
- 二十三、中央委員は、政策の一般組織及管理に對して、責任を有すると同時に、其の職務の大部分は、地方に於て處理さるべきものなることを認めざるべからず。
水兵、陸兵、共に其の除隊せらるゝや、自然の現象として、直ちに其の郷里に歸還するを常とし、且成るべく其の自家に近き處に於て、職を得むことを欲すべし。故に斯る場合には、各地方に於て起るべき、總ての場合に對して、直に

中央委員の職務は地方に配分すべし

地方委員の設置

之を處理し得るが如き者を任命し置くことを必要とす。

之に反して注意を要すべき療兵の全部が、總ての都會、及地方に配分せらるゝ場合には、或る一地方に於て取扱ふべき数は、比較的僅少ななるに因り、之が爲特に各地方に於て、新に地方團體を創設するの必要なが如し。

二十四、然れども若し或る特殊の地方に於て、療兵の數及當該地方利害關係の程度を考慮し、中央委員を輔佐するが爲、有力なる地方委員を組織することを得べしとせば、固より當然實行に値すべし。

地方委員を任命するの要なきが如き場合と雖、尙二、三の地方住民を、中央委員の代表者として行動執務せしむること敢て難しとせざるべし。

倫敦及二、三の大都市に於ては、療兵の數、恐らく多數に上り、直ちに地方委員の任命を必要とするに足るものあるべし。他の地方に於ては、必要の生ずるに従ひ適宜其の任命を行ひ得べし。

二十五、斯くして組織せられたる團體は、窮極療兵たると否とを問はず、總ての除隊兵士の職業を處理するが爲に、之を利用するを可なりと主張するものあり。

現下全國各地方に於て、此の種の事業に従事せる無数の代理者あること、及其の事務の複雑なることは、やがて彼等活動の協同を圖り、且其の重複を防止せんが爲、特に何等かの手段を執ることを希望するに至らしむべし。

然れども上述の方策に關しては、吾人茲に之を言議するの要無し。蓋し吾人は、此の問題の既に他の方面に於て、至大なる注意を喚起せることを信すればなり。

唯吾人が茲に言及する所以のものは、由來二個の互に相關連することなき團體の組織を企圖すること不可能なるを思惟すればなり。即ち一は療疾者を、又他の一は健全なる兵士を處理するの事業なればなり。

二十六、更に調査委員等は、海軍及陸軍事務(扶助料及恩給金)に關する特別取調委員に於て、海軍兵士、及其の家族に對する扶助料、別居手當、及追加賜金のことを處理する爲、制定委員の任命を推薦せることを知れり。

故に調査委員等は、前に述べたる總ての職分を有する一團體の設立よりして、大なる利益を顧み得べきことを主張せむとす。即ち此の方法に依り此の報告の爲、吾人の推薦せる者より更に有力なる地方團體の殊に必要なことを認め得べし。

F 癩兵を農業に従事せしむる計畫

癩兵を農業に従事せしむる事は、方々に於て、代に試みる時あり

二十七、癩兵をして農業に従事せしむることを目的とする諸種の計畫は、已に吾人の前に提供せられたり。蓋し此の事たる、極めて重要なを失はずと雖、調査委員等は、其の計畫の效果に就きては、何等の意見を發表するを欲せず。何となれば其の提案たるや、極めて試験的のものにして、且實際的效果を呈するに至るまでには、更に幾多の修整彫琢を加ふるの要あればなり。調査委員等は此の問題に關し、其の任命を主張せる中央委員に於て成るべく短時日の間に、此の點に就きて、更に十分なる考慮を費さむことを提議するものなり。

G 労働者傷害賠償法の實施

業主を雇傭せしむるに、少からざる困難あるを恐る。蓋し、千九百六年（明治三十九年）の労働者傷害賠償法に據れば、雇主は労働者使役の爲め、又は其の使役中に惹起せる不時の災害の爲、賠償を爲すべきの義務を有するを以てなり。故に吾人は此の問題に關して、特別に調査を爲すの可なるを思ふ。而かも調査委員等は、雇主の此の義務に對して、何等か保證を得るあらば、毫も斯くの如き困難を惧るべき要なきを疑はず。災害局協會（Accident Offices Association）に加入せる保險會社の關與する限り、通例保險會社の請求する均一保險料は、健全なると、一部癩疾なるとを問はず、各階級の使役人に適用すべきものにして、且極めて特殊の場合を除く外、身體上不能力との理由を以て、些かたりとも追加料金を課すべからざるものなるが如し。

二十八、調査委員等の熟知する處に依れば、諸方面に亘り、雇主をして輕微なる不具者を雇傭せしむるに、少からざる困難あるを恐る。蓋し、千九百六年（明治三十九年）の労働者傷害賠償法に據れば、雇主は労働者使役の爲め、又は其の使役中に惹起せる不時の災害の爲、賠償を爲すべきの義務を有するを以てなり。故に吾人は此の問題に關して、特別に調査を爲すの可なるを思ふ。而かも調査委員等は、雇主の此の義務に對して、何等か保證を得るあらば、毫も斯くの如き困難を惧るべき要なきを疑はず。災害局協會（Accident Offices Association）に加入せる保險會社の關與する限り、通例保險會社の請求する均一保險料は、健全なると、一部癩疾なるとを問はず、各階級の使役人に適用すべきものにして、且極めて特殊の場合を除く外、身體上不能力との理由を以て、些かたりとも追加料金を課すべからざるものなるが如し。

二十九、故に調査委員等は、雇主が保險に依り其の義務を免るゝ場合には、癩兵の使役に對し、前記の理由を以て、何等

の反對を惹起するが如きことなかるべしと思惟す。而かも斯くの如き雇主は、常に盛大なる事業を有せず、且僅に少數の労働者を使用するに過ぎざるべし。

H 結 論

癩兵保護の必要

三十、前記の報告に於て調査委員等は、主として癩兵保護の問題を處理するの目的に依り、機關の創設を熱心に勧告するの至當なるを認めたり。而かも調査委員等は、此の見解の必ずや帝國政府の希望する所と一致すべきを信じて疑はず。

然れども調査委員等は、茲に其調査を試みたる問題の、甚だ緊急なる事を注意せむとす。蓋し假令從來陸海軍より除隊せられたる癩兵の数は、豫期以上に少數なりと雖、其の職務の爲、不幸なる境遇に陥りたる者に對して、國家が當然に負ふべき義務を履行せむが爲、速に一個の團體を創設すべきは、最も希望すべき所たらざるべし。而かも處理すべき兵士の數たるや、日毎に増加すべく、隨て新設機關が成るべく速に活動し得るに至ることは、最も肝要なりとす。

三十一、故に調査委員等の主張に就きて要領を附記すべし。

調査委員の要領

- (一) 戦役に於て癩疾者となれる陸海軍々人の保護は、國家の負ふべき義務なりとす。
- (二) 此の義務たるや左の件々を包括す。
 - (イ) 出來得る限り、其の兵士の健康を恢復せしむべきこと。
 - (ロ) 兵士にして新規なる職業を學ばむとするときは、其の習得を容易ならしむるの設備を爲すこと。
 - (ハ) 援助を要するが如き場合には、兵士の爲職業を周旋すべきこと。
 - (ニ) 是等の義務を履行する爲、中央委員を任命すべく、且事情に應じて適當なる官省の手に依り、又は單獨を以て、行動し得るの權能を授くべきこと。
- (四) 中央委員は、愛蘭及蘇格蘭に對して、副委員の輔佐を有すべく、且斯の如き機關の制定を必要とすべき事情ある聯合王國內の、或る地方委員に於ては地方委員の輔佐を有すべきこと。

三十二、調査委員等は、其の職務遂行、及此の報告の作成に關し、其の權限に於て有する助力を附與せられたる秘書役エ
イチ・ジェー・コムンス氏の勞を感賞するものなることを茲に附記し、以て永く同氏の功績を記念せむとす。

議長

チー・エイチ・マレー

チャールス・イー・プライス

ダヴリユー・エイチ・ビヴァリツチ

フランク・プリンガー

チャールス・クラツチレー

サングルスト

デヨルデ・フランクリン

レスリー・スコット

アーサー・ヘンダーソン

アール・ラツセル・スコット

ジョン・ホツヂ

エイ・ヴィーシモンツ

パトリック・オプライエン

秘書

ヘンリー・ジェー・コムンス

一九一五年五月四日

(一九一五年六月英國廢兵調査委員會報告所載)

(一) 廢兵保護に關する施設の發達

〔摘要〕 一、本論は、千九百十六年一月倫敦デニソン會館に開催せられる英國慈善協會冬季會議の席上に於て、
エツチ・エル・ウルコム氏の朗讀せるものなり。

一、廢兵保護に關する政府の施設に依れば、廢疾に因り生業不能となる者には、一週二十五志の恩給及一週二
志六片の子女扶助料を給し、一肢一眼を失へる者に對しては、一週十志六片を下らざる恩給金を給與す。

一、廢兵調査委員が廢兵の保護に關し爲したる意見は、孰れも肯定すべく、誠に救護事業は國家の責任なると
同時に個人及團體の助力を要す。

一、今廢兵保護を目的とする自發的施設機關の活動状況を見るに、(一)軍人救護會は、六個のロバート海記念
工場を有し、廢兵に器具製造を修練せしめ、(二)メリー皇后保養院は切斷治療を受けたる者、手足を失ひた
る者等を收容し、適當なる職業の訓練を授く。(三)聖デユンスタン收容所は、失明軍人を救養して各自其の
生計を營むに至らしむ。

一、廢兵は、(イ)全然仕事に服する能はざる程度の者、(ロ)周到なる監督及治療に依り普通の工業生活に復帰
し得る程度の者、及(ハ)普通の職業に従事し得ざる程度の者に分つを得べく、第一の者は隣人朋友の慰藉に
依り餘生を楽しむの外なるべく、第二の者は目今其の就職に困難を感じず、且つ戦後も亦雇傭者此の勇士
を歓迎すべく、第三の者は取扱最困難にして、淘汰の制度亦一顧の價あるも、特別訪問法を以て、其の最良
なるものと信ず。

一、廢兵を取扱ふに當り注意すべきは、廢兵のみを收容する工場を設立するが如きは好ましからざること是非
なり。彼をして練習を受くる間、其の妻及家族と共に居住せしむる爲、其の居住地に於て職業を修得せしむべ
きなり。又更に進みて、公立の職業紹介所を設け、或は廢兵を使用せむとする雇主組合の成立を勸奨するを
急務とす。

戦争に起因する幾多の問題中、廢兵に對する設備の問題より、緊急にして且重大なるはなからん。今日其の適當にして
満足なる解決の爲に、國を擧げて力説高唱すべき問題ありとせば、そは實に此の問題なり。

彼等は實に邦國の爲、勇敢に戦ひたるの士、或は現に勇戦奮闘の裡にある者なり。不具廢疾と爲りて(或者は永久的に)

除隊兵の
数と授職
の状況

除隊となる者なれば、國家が彼等の窮乏に對して、相當の設備を爲すべきは、蓋し當然の事なりと謂はざるべからず。今日まで（千九百十六年一月）にては、斯の如くして除隊せる者の数は、凡そ一萬三千人乃至一萬四千人に及び。幸ひにも彼等の多くは、工業方面に吸入せられ、今日に於ては重傷者を除き、仕事に堪へ得る人々に職業を授くるに對し、未だ何等の困難の生じたるを聞かず。

然れども戦争にして長引くとせば、民間の職業に従事するの困難に陥ると共に、海軍或は陸軍より除隊せらるゝ者の數愈々多きを加ふべきを思はゞ、吾人救済事業に身を托する者の、現在より將來に及ぶ、此の難問題を解決する爲に、一臂の力を致すべきは、眞に希望に堪へざる所なり。

本論文は、敢て何等かの解決方法を提議するものにあらず。然れども此の結果として生ずべき議論に對して基礎となるべく、又既に或地方に於て、訓練方法其の他の計畫に於て行はれたる所を、紹介説明せらるべき機会を、諸君に與へ得る位の効はあらむ。

廢兵救護
に關する
政府の施
設

第一に政府が、廢兵の爲に、如何なる設備を施したるかを説明することも、亦當を得たるの事たるべし。

從軍中に受けたる負傷或は傷害の爲に、生活を營むこと全然不可能となれる軍人は、總て一週二十五志（一志は凡五十錢）の年金を給與せらるべく、又全然廢疾と爲れる者には、右の外更に其の除隊前に出産せる兒女に對して、其の十六歳に達するまで、一週二志六片（一片は四錢）の扶助料を給與せらるべし。

全部若く
は一部生
業不能と
なれる廢
兵の救護

次に若し其の廢兵にして、多少自己を支ふることを得、而かも其の収入額にして、一週二十五志に達せざる者には、之を一週二十五志に充たすだけの補助金を給與す。茲に注意すべきは、其の収入額なるものは、實際の獲得賃銀高にあらずして、獲得し得べしと推定せられたる額なることはなり。是れ一に醫學上の根柢に依りて決定せらるべきものなり。之を決定するは、稍々困難なるが如きも、而かも此の問題を取扱ふ上に於ては、最も正當にして且つ最も公平なる方法なりと謂ふべし。此の恩給金は、時々改訂せらるべし。是れ廢兵の傷害に原因せる病狀増進の爲、生活費獲得の能力の減少せる

場合、適當の標準まで其の恩給金を引上げらるゝの機會を作らむが爲なり。

更に兵士にして一部不能と爲りたる者には、恩給金の外、其の兒女に對して十六歳に達するまで、一週二志六片を超へざる扶助料を給與せらる。

一肢又は
一眼を失
はる者
の救護

次に兵士にして、片脚、片腕、又は片眼を失ひたる者には、其の収入額の如何に拘らず、一週十志六片を下らざる終身恩給金を給與するを以て常則とす。

南阿戰爭
當時の廢
兵恩給金

何れにせよ、是等の手當は、多くの場合、極めて豐潤なるものにして、之を南阿戰爭の後に給與せられたる所に比すれば、遙かに勝れたるものあるを見る。南阿戰爭當時に於ける、恩給金の程度を見るに、全部の廢疾に對しては、一日一志六片、或は二志六片、即ち一週十志六片、或は十七志六片を、又一部の廢疾に對しては、一日六片、或は一志六片、即ち一週三志六片、或は十志六片を給するに過ぎざりしなり。

是等の規定より察するに、政府は蓋し、生業能力あるあらゆる廢兵にして、其の能力に相應して、各自の生計を營ましめむことを強ひむとするの意圖を有せしなり。是れ廢兵自身の爲にも、極めて正當にして且公平なる處置なりとすべし。

廢兵の大半は、たとひ國家より給與せらるゝ恩給金にして、彼等の必要を充たすに十分なるものあるにせよ、彼等の餘生を無爲閑散の裡に送るを以て満足せざるべきは、疑を容れざるべき所にして、又之に満足せる者と雖も、其の心身を働かすべき何物も有せずといふ感念は、必ずや徳性頹廢の結果を惹き起すべし。

かかるが故に、何等かの職業に従事し得るの能力ある者、及最初の職業を再び繼續すること能はざるが如き、海陸軍廢兵の爲、其の健康状態に適應する如き仕事を爲し得るやう、訓練せしむべきことは、國家の雙肩にかゝる責任なりと謂はざるべからず。

廢兵の職
業訓練は
國家の責
任

戦争の爲に不具となれる廢兵雇傭の規定に關して、地方政務院長官の任命せる委員會の報告には、斯の種の廢兵に對する保護の責任は當然國家が負擔すべきものにして、此の責務は、國庫より支出する恩給金を以て、償はれたるものと看做

すべからざることを述べたり。
該報告は更に進んで曰、「瘡兵をして出来る限り、其の健康を恢復せしめ、更に彼等をして其の境遇と肉體状態とに、最も善く適當せる職業に就きて、其の生活を營むことを得しむる様、援助を與ふに努力するは、實に國家の義務なることを知らざるべからず」と。

個人及團體の援助を要す

尙陸海軍恩給令の中にも、此の法令に據りて規定せる法定委員會の任務中、今次大戦亂の結果、不具となれる士官及下士卒に對する保護の如きは、正に其の第一なることを明瞭に記述せり。是を以て之を觀れば、國家は其の責任を認識せるものと謂ふべし。而かも同時に又其の事業を満足に遂行し得るは各個人及各團體の自發的援助に俟つもの甚だ大なるものあることも勿論也。瘡兵雇傭の規定に關する報告の中に、委員會は陸海軍々人の幸福を顧念する個人或は團體が、自發的に與ふる有効なる援助を除外し、或は之を阻止せむとするが如き、希望は秋毫もこれ有らざる旨明白に宣言せり。且曰く「國家の爲に奉公の誠を致し、困苦を嘗め來れる勇士に對する保護は、國家の任務なるは勿論なれども、而かも彼の法令の期待する最善の結果は、吾人が既に述べたる他の機關の協同援助に依りて始めて、獲得することを得む」と。

瘡兵救護を目的とする團體

斯くの如くして慈善的機關或は團體の上に、最も大なる責任を負荷せしめたりしなり。此の問題を取扱ふべき、最も賢明にして且最も善良なる方法を慎重に考慮するにあらずむば、此の點に關する義務を完了することを得ざるべし。請ふ、先づ瘡兵救護を目的とする現存の各種自發的團體機關に就きて、簡單に述べむ。

一、軍人 救護會

此の會は、國內のあらゆる地方に、其の代表を有し、其の事業に就きては、何人も知悉すべきこと疑を容れざるに因り、茲に之を詳述するの要を認めず。されど其特に瘡兵訓練の爲になせる施設に就きては、少しく陳述するも、亦無用の業にあらざるべし。

軍人救護會と職業訓練施設の

會にロバート卿記念工場凡そ六箇所あり、瘡兵は是等の工場に於て、其の仕事を受けられ、靴製造人、家具修繕人、或

ロバート卿記念工場

は玩具製造人としての訓練を受く。是等工場の所在地は、倫敦、リヴァプール、コルチエスター、ブリストル、ピスリー及ベルファストにして、九百五十人に對する設備を有し、近く將に擴張して、千三百五十人を收容するに至らしめむとす。

右の外、尙同様の工場を、エデンバラ、バーミンガム、北部州、南部州、及ウエールズに開設すべき準備は、現に着々として進行中に屬す。

若し是等工場にして、總べて完成するに至らば、凡そ二千五百人を收容し得るの設備を有するものとして期待せらる。

此の會は、更に十分需要ある地に就き、進んで此の種工場を開設せむとし、既に其の準備に着手せり。是れ亦確實なる事實として知らる。

二、メリー女王保養院(ルーハンブトン所在)

メリー皇后保養院の目的及事業

メリー皇后保養院は昨年(大正四年)六月末の新設に係り、英國に於ては勿論全歐洲に於ても全く他に類を見ざる、唯一特種のものたり。

此の院は、三百八十五人を容るゝの設備を有し、切斷治療を受けたる者、手足を失ひたる者、或は病院又は恢復期療養所に於て手術を受けたる後、再び普通生活に入る前に、必要なる義手又は義足の給與を得るまでの、最後の恢復期に於て、數週間の靜養を要すべき者のみを收容するものとす。手足を失ひたる者は、普通生活に入る以前、總て此の院に送られ、入院中に於て、何人も將來の職業に就き、適當なる訓練を受く。

此の院には、クラーク大學の希望に依りて指導せらるゝ附屬講習なるものあり、入院者は、何人も此に就いて、速記術、タイプライターの術、簿記、初歩數學等を習ふことを得べし。

又リゼント街工藝講習所に於けるロバート・ミツチエル氏の計畫に基き、其の寄附に依りて更に其の管理を受くるの一工場あり。此には電氣學初歩、大工、工學、特に發動機械學、發動機運轉法を教授し、有資格運轉手としての訓練を加へ

本院の事業成績

本年（大正五年）一月十五日の調査に據れば、此の院と連絡ある職業局の紹介に依りて、各實務に就きたる者、既に二百二十九人に達し、各自従前の職業に復したる者は二百六十七人、其の他餘生を送らむとする地方に於ける認定團體並に官廳關係の職業に従事する者百三十六人を算せり。

三、聖デユンスタン收容所（レゼント公園内失明軍人收容所）

聖デユンスタン收容所の失收

聖デユンスタン收容所は、盲人協會、英國赤十字社、ゼルサレム聖ジョン教團に依りて創始せられ、失明軍人を教育して、各自其の生計を營むに至らしむるを目的とす。

該收容所は、百三十人に對するの設備を有し、盲人、點字の讀方、書き方、及タイプライター術より、大工、縫製業、網織術、マツサージ、家禽飼養、靴修繕、電話術、更に潜水術に至るまで、種々の職業を此に修得せしめ、既に業務に就きたる者も少からず、何れも良好の成績を挙げ居れり。

斯の如く三箇の機關は、既に致々として其の事業に努力しつゝあり。殊に軍人救護會の如きは、多年の經驗を有するが故に、若し進で陸海軍恩給令に據る地方委員會の創設せらるゝに及ばず、其の地方委員會及地方委員分會は、其の會を代表し、各自の任務を完ふせむが爲に、盡力すべきを疑はず。

陸海軍恩給令に依る地方委員分會及副委員分會

地方委員會の法規を規定せる法規に據れば、軍人救護會及軍人家族救護協會を代表することを明確に記載せり。恩給令の規定に基く地方委員會及地方委員分會にして成立せば、上述せる他の機關も、亦是等と相協同して、必らず其の事業に幹旋すべし。法令に據れば、地方委員會は、副委員會を任命するの權を有し、副委員會の組織は、地理上の區劃に因らず、地方委員會に屬する特種の任務を遂行すべきものとす是等副委員會の一は、必ず廢兵雇傭に就きての訓練、及設備に關し、其の力を致すべきものとす。

されど是等の地方委員會は、未だ其の組織を見ざるのみならず、尙當分は其の組織の見込も立たず、法定委員會の如き

も、僅に一回の集會を爲せるのみ。其の計畫すら未だ普く知られざるの今日に於ては、豫期の如き進行を得るは、蓋し至難の業に屬せむ。

廢兵の分類

戰爭の爲に廢疾となれる者は、之を次の三種に分類することを得べし。

- (イ) 全然不具廢疾となり、爲に現在に於ても、將來に於ても、何等の仕事に服するの全然企圖し得ざる者。
- (ロ) 最も多數を含む種類にして、注意深き治療と監督とに依り、普通の工業生活に復歸するを得る者。
- (ハ) 取扱ひの最も困難なる者にして、普通の職業に就くを得ざれども、而かも適當なる職業に對する訓練を與へざるべからざる者。

廢疾者の取扱

第一種類に就いて之を見るに、工業従事者として、彼等を訓練せむと期待するは、勿論不可能の事なり。彼等は恩給金の給與を受けて、其の餘生を送らむとする者なれば、其の居住地に於ける隣人の能く彼等の精神を慰め、彼等の生活を能ふ限り幸福ならしむる爲に、十分努力せむことを冀望する外なかるべし。然れども更に其の活動を擴めしめ、是等の人々をして自から支へ得べき何等かの仕事を修得せしむる爲には、ベラベーション會の存するあり、之と相俟ちて始めて其の効果を收むべし。

第二種類に屬する者は、最も多數なれども、現在の所にては未だ多くの困難を認めず。聞くが如くむば、除隊兵の爲に職業を紹介する事には左までの困難なく、需要は常に供給に超過せり。戰爭終結を告げ、多數の兵士の歸來する場合にも、雇主は寧ろ忠實勇敢に、國家の爲報効したる人々を、最第一に歓迎すべきは疑ふの餘地なき所たるべし。

第三種類は、其の取扱に於て最も困難なる者とす。即ち注意深き訓練を受けて、獨立生計を（少くとも一部の）營み得るに至るべきもの也。

獨逸が此の點に於て、如何に爲せるかを知るは、蓋し興味あるの事たるべし。到る處町として、左の如き三角委員會と稱し得べきものなきはあらず。未だ之あらずとも、之を設けむことを提議せられざるはなし。

特殊の職業の爲め兵士を逸脱せしむるの取扱

工業に従事する兵士の取扱

三種の委員會と其の任務

- (イ) 經濟委員會
- (ロ) 教育委員會
- (ハ) 職業委員會

此の第一の委員會は、單に病院に於ける醫師及び看護婦より組織せらる。素と患者は戦時の任務を履行するに因り、全部若くは幾部分の癩疾者となれる者なれば、其の最初の地位境遇の如何を問はず、又其の癩疾者なるにも拘はらず、之をして再び工業界に身を投ぜむとするに方りては、果して利用し得べき何等かの特種なる嗜好を有するや否や等の事を探知するを要すべく、之が爲には醫師と看護婦とに待つの外なきを以てなり。其の調査報告は、第二委員會に移牒せらるべく、此の委員に於ては、其の者の如何なる業務に就く能力あるかを決定し、之を本人に知らしむ。第三委員會は、労働紹介所と密接なる連絡關係を保ち、其の者の訓練を終りたる時、業務に就かしめむことを期す。斯くの如き計畫は、恐らく我が英國の如き國に於ては、餘りに組織煩雜なりとの誹を免れざるべし。然れども病院に療養するの時に於て、癩兵の特種の意向に關し、早く十分の知識を獲得し置くは、眞に望ましきことなり。更に特別訪問委員をして、病室を訪問せしめ、以つて之に備ふるは、困難のことにもあらざるべし。

癩兵調査の爲の訪問委員

特別訪問委員は、先づ癩兵の家族を問ひて、其の住所を確め、更に軍人家族救護協會の地方分會に問合せて、其の境遇を知り、此の如くにして得たる所の調査に基きて、彼等の訓練に着手せむことを期す。是れ極めて利便多き所たるべし。訓練の任に當る人々は勿論癩兵の訓練を受くる地に於ける地方委員會と密接の連絡關係を保つべく、地方委員會は其の訓練の終りたる時、之を職業に就くことを得べき地位に置くべし。若し軍人家族救護協會或は軍人救護會に關係ある人にして、此の訪問事業に従事する如きあらば、彼等の多きは、既に癩兵の家族を知り居るが故に、其の計畫は必ず更に完全に行はれ得べく、癩兵も亦其の訪問を一層快く迎ふることとなるべし。即ち斯くの如き規定に據れば、同一の特種なる目的の爲に、多數訪問者の蟻集することを防止し得るの利あるべし。

癩兵の收容すべし工場を設立は不可

軍人救護會の癩兵訓練方法

陸海軍々人をも一手に收容すべき工場を設立せむとするが如きは、實に好ましからざるの事にして、何人も同感なるべしと信す。癩兵に對する職業供給に關する委員會の報告書にも、特に此の點を力説せり。但し一面に於て存せる機關の何れか、此の目的の爲に利用せらるゝを得るとせば、此の方針に従ふべきことを認容せり。

此の訓練は、成るべく癩兵の居住する地方に於て授けらるべき也。是れ單に經濟的に爾か言ふにあらず、癩兵をして訓練を受くる間、其の妻及家族と共に居住することを得しめむが爲なり。

軍人救護會は、既に此の點に注意せるが如く、其の經營に係る工場に於て訓練せらるゝ者には敢て住宅を給與せず。若し其の設備を爲さむと欲するときは、癩兵をして訓練所の附近に成るべく其の家族と共に居住せむことを期すべし。更に經濟上の理由より望ましきは、此の訓練方法が、既に存せる機關、例へば工藝講習所或は工業學校の如きものと連絡を保ちて之を確立すべきことは是れなり。又田園の業務に對する訓練を受くる者に就ては、例へばシユロプシヤ州のハーバー・アダムス専門學校の如き農業練習所と相提携すべきことは是なり。

又斯の如き場合には、各種の農業協會委員會の推薦を受けたる個人農業者にして、其の訓練する各人に對し、加俸又は補助金の下付を受くる者の經營に係る訓練を受くることを得。

次に吾人の攻究すべき事は、『彼等は其の訓練を終りたる時、如何にして就職し得べきか』の問題なり。職業紹介所を此の目的の爲に使用すべしとの説あり。然れども彼等は、職業紹介所に其の氏名を登録することを拒絶する虞れあり。隨て國家は斯の種の人々に對して、一定の或る特種なる設備を爲すの必要あるべし。即ち特別なる公立職業紹介所を設立するを要す。彼等は此に其の氏名を登録し、之に依りて職業を得るの組織となすは、固より可能の事たるべし。

且又、職工使用者の多數が、愛國的の理由より、他を措いて癩疾の陸海軍人を雇傭すべきは、明白の事實なり。斯る雇主の組合會を組織するは、固より肝要の事にして、其の任務たる、雇主に勸めて、其の業務の中に空位ある場合、之を申し出でしむるに在り。斯くして雇主は、地方委員會との協同提携に依り、或は特別の公立職業紹介所を経て此等の人々を

癩兵に對する授職方法

癩兵の公立職業紹介所の使用せむとする雇主の組合

雇ひ入るゝことを得べし。

或る地方に於ては、職工補充令に依り、雇主の上に置かれたる責任の重きが故に、一部の瘵兵を雇入るゝことを躊躇せしむるものありとの悲觀説を聞きたり。然れども瘵兵の職業に就きては、既に特別の研究を遂げ、而かも雇主にして責任なきことを保證せらるゝ場合には、此の種の困難は何等意とするに足らざる事を述べ、又災害事務協會加入の保險會社に在ては、健全なる者と一部不具の者たるを問はず、凡ての種類の使用人に對しては、普通には同一の保險料を課せらるべく唯例外の場合にのみ身體上の不具に對して、特別附加の保險料を課せらるゝことを記せり。

戰時保證
基金團と
住宅設備
資金の貸
出

瘵兵に職業を授くる事に就て、今日までに提出せられたる幾多の方策に關しては、未だその詳細を悉さず。然れども尙其の他の方策、例へば田園都市案の如き、戰時保證基金團の如きに就きて、其の詳細を述ぶるは、到底時間の許さざる所なり。就中後者即ち戰時保證基金團は、公務従業者に對し、低廉なる使用料に依りて、住宅の設備をなすべき資金を貸與するを以て其の目的とす。勿論是等の計畫は各々長所を有し、其の發達の方法としては、十分に考量の價值あるもの也。然れども吾人の根本目的は、周圍の事情の許す限り、出来るだけ是等の人をして、彼等が最初一身を國家の爲に奉ぐる以前に送れる、正則なる自然の生活に歸らしむるにあることには、何人も異論を挟まざるべきを信す。

最後に一言すべき事あり。徒に是等軍人の希望を高め、勞力と費用とを浪費するに過ぎざるべき、散漫なる一夜漬の計畫を創めむとする、あらゆる企畫を阻止せむとする、吾人の主張には、何人も同意を表せらるべしと思惟す。

吾人が献身的事業家として爲さざるべからざるは、成るべく地方委員會及地方委員分會の事業を激勵し援助するに在り。之が爲にはあらゆる方法に依りて之に貢献し、之を補助し、而して既に事業を始めたる各種機關の得たる經驗と知識とを利用すべき也。

吾人が此の目的の爲に組織せる、幾多の委員會と提携すること、愈々密接を加ふるに隨ひて、爾かく忠實に國家に奉公せる勇士を裨益し得るの希望益々大なるものあらむ。

(一九一六年二月英國慈善機關雜誌所載)

(三) 瘵兵救護施設概況

〔摘要〕一、本論は英國に於ける瘵兵救護に關する公私施設の活動状況を概述したるものなり。

一、陸海軍兵士救助協會は、各所に工場を有し、瘵兵をして、器具の製作修繕に従事せしめ、メリー女王瘵兵作業場は、電氣業自動車業を營み、メリー女王保養院は、速記術簿記を教授し、自動車運轉の修練を爲さしめ、聖デユンスタン失明軍人收容所は、器具の製作、家禽の飼養、按摩術の修業等を爲さしめ、サンマーダウン陣營病院は、快復期にある軍人を收容して製菓刺繍等を教授し、ノーザムプトン工藝講習所は電氣配電所の勤務者を養成し、今日まで既に四十人の入學者あり、キツチナー基金會は、陸海軍兵士に奨學金を給すべきものなるも、未だ實行の運に至らず。製菓師養成學校は、千九百十六年二月設立せられ、既に卒業生を出し、貧民同情會瘵兵救護委員會は、會員既に六千人に垂んとし、最近三箇月間に於て二百人の瘵兵に職業を給し、陸海軍人保養院は、戰爭に起因する神經衰弱の治療を主とし、且つ園藝、養蜂、家禽飼養、牛乳搾取等を教授す。

現時に在りて、陸海軍瘵兵に對し、如何なる種類の職業、教育及其他の施設が有効なるべきやを判定するは、頗る困難の事に屬す。

今此の點に關し各種の方面より蒐集し得たる報告を左に列記せむとす。記者は之等簡にして要を得たる數件の報告が、總て他の計畫又は施設を關知せる人々をして、本誌の記者に對し、其の詳細を報告せしむるの動機となるべきを希望す。

官設

財團法人
陸海軍兵
士救助協
會

- 一、官設 戰時陸海軍瘵兵職業調査委員會——秘書官エイチ・ジェー・コムンス・ホワイトホール内地方政務院。
- 二、財團法人 陸海軍兵士救助協會——秘書役陸軍少佐ティエードル・クレイグ、倫敦南西區プロムトン街百二十二、本協會は倫敦、ブルックウッド・パアミンガム・ブラッドフォード・ブライトン・ピスレー・コルチエスター・ニューキヤツスル・プリマス・リヴァプール・エディンバラ及ベルファスト等に於て、籃細工、藤椅子加工、玩具及家

具の製作、修繕等の工作場を有す。

千九百十六年（大正五年）三月に於ける九百五十人に對する收容設備は、二千五百人乃至三千人に對するものに増
加せらるべし。賃銀は、政府扶助料を除き、一週一磅、但熟練の程度に従ひて、之を増加す。

メリー女
王殿兵作
業場

三、メリー女王殿兵作業場、ブライイトン（王室大天幕）——ルーハンブトンに於けるものと同性質のものに屬す。四種
の職業訓練を授く。即ち大工業、電氣工業（電燈、電鈴、及電話の設置、修繕、アーク燈等）、自動車業、但し修繕及
運轉術を包含す。

メリー女
王保養院

四、メリー女王保養院、ルーハンブトン——千九百十五年（大正四年）六月開設、五百五十人に對する收容設備を有
す。一肢を失ひたる兵士は、義手義足の支給決定に至るまでは、病院より此所に移住せしめらる。速記術、タイプラ
イター、簿記、初等數學等の自由教授、電氣技術、大工業、機械學、及殊に自動車機械學、及其の運轉に關する技術
を教習する工作場を有す。運轉手に對しては、十分に其の資格を得るまでの教習を施す、千九百十六年（大正五年）
九月に至る統計に據れば、授産局が職業を授けたるもの八百八十八人、自己の職業に復歸せるもの千三百九人、就役の
爲自家に近き地方委員の許に赴きたるもの千十六人、千九百十六年（大正五年）九月までに病院を退きたるもの三千
六百三十人。

聖デユン
スタニス
明軍人收
容所

五、聖デユンスタニス明軍人收容所——倫敦北西區、リヂェント公園、收容人員百三十人、點字讀法、印字法、速記
術、大工業、製菓業、製網業、靴修繕、按摩術、家禽飼養業、電話業等を行はしむ。

サンマー
ダウン陣
營病院

六、サンマーダウン陣營病院——イーストポーン、英蘭各地より送られたる快復期に屬する陸軍下士卒の爲に之を設
く。彼等は徐々に製籃及刺繡等の如き簡易業に従ひ、再び現役に復するの準備を爲さしめらる。戰爭前に於て、製籃
業者たりし患者は、無報酬を以て教授の任に當るものとす。

刺繡術はイーストポーンの婦人、之を擔當して教授す。約五千人に對する收容設備あり。

ノーザム
プトン工
藝講習所

七、ノーザムプトン工藝講習所、倫敦中央東區クラークンウェル——所長ウォムスレー、電氣技師學校、及倫敦州參事
會の組織に係る、電氣配電所の勤務員としての自由教育を施し、實習をも併せ行ふ。千九百十六年（大正五年）十月
に至るまでに、四十人の入學者ありて、其の中二十五名は就職せり。九月中旬に教習を始め、十一月中旬に見習生と
して採用せられ得べきもの二十名。

キツチエ
ナー基金
會

八、キツチエナー基金會——陸海軍兵士に對して、獎學金を給す。（將校及兵士又は其の息）但し特別の資格あるを要す。
語學、經濟、商業原理を教授し、一年間の外國生活を爲さしむ。（此の計畫は未だ實行せられざるべし）

靴師養
成學校

九、靴師養成學校——倫敦中央東區ベスナル・グリーン街四二、千九百十六年（大正五年）二月七日より開始、一學
級十二名より成る二學級二十四名は既に教習を終れり。第一回生十二名は、千九百十七年（大正六年）二月其の課程
を卒れり。本施設の擴張は、十分なる資金の回收を俟ちて行はるゝ筈なり。本教習完了に至るまでの經營を維持する
爲、政府扶助料を補ふに、陸海軍兵士救助協會の補助金を以てす。

農業水産
局と廢兵
の職業教
育

一〇、加奈陀病院——マーゲート附近、恢復期患者及廢兵の入院中、之に仕事を給す。
一一、ジェー・エフ・ケムブソン——シエリンガム、兵士を化學工業に就職せしむるを目的とす。此の計畫は、一腕又
は一脚を有する兵士に對する教授を目的とし、酸の製造及化學用品（藥品）、寒暖計の製造、及健全なる職工と共に化
學工業に従事せしむ。

農業水産
局と廢兵
の職業教
育

十二、農業水産局は、除隊せる陸海軍兵士に對し、廢疾扶助料を減額せず、且自由扶助の下に、自由農業教育を施す事
を提議す。

貧民同情
會廢兵救
護委員會

チエシヤイヤイなるホルムス・チャバルに於ける農業及園藝學校に於て十二週間の初歩數學を施す。適當なる練習
生に對しては、此の外更に二學科の教授を爲すべし。詳細は同局書記官に就きて問合すべし。
十三、貧民同情會廢兵救護委員會——協會の帳簿に登録せる人員は地方人を算入し、五千八百六十二名に達す。毎月約

癩疾の職
業教育に
關する其
他の施設

六十乃至七十人に對して、職を授く。千九百十六年(大正五年)十一月二日に至る三箇月間に於て、二百人の癩疾に職を給せり。ノールダムブトン學校に於て、發電所の執務員として教育することに因り、協會自身として利益を得、且人物經濟を計りたるは、本協會を以て初めとす。

十四、倫敦大學ゴールドスミス分科大學委員會は、癩疾者となれる將校及兵士を入學せしめ且専門教育者としての適當なる教育を施すの準備を有せり。教育局は除隊せる陸軍々人にして、適當なる者に對しては、入學を許可するの考案を有せり。——其の資格に關しては、各人に就き之を査定すべし。但し從來必要とせられたる體力の標準は、之を拋棄す。

(一九一七年二月英國慈善機關雜誌所載)

(四) 除隊後に於ける兵士と其の職業

- 〔摘要〕 一、千戈治まりて數十萬の除隊兵歸還するや、未だ國內の事業復興せざる時に當り、此の勞働力の過剩は如何にして調節すべきか、身を抛つて職へる勇士が、平和克復後創設する路頭に迷ふことなきか。
- 一、南阿戰爭後特に歩兵種の除隊兵は、各履備主に於て之が就職を拒否せる幾多の例あり。是れ除隊後の活動の中止、運送船内の不自由なる生活等が、其の活動力を低下せしめたるに因るもの、如し。此に備ふる爲には地方公共團體は陸軍省と連絡を保ち、戦後徐々公共事業に着手し、除隊兵を採用するを以て、最適の方法と信ず。
- 一、又除隊後永く職を授けざれば、彼等をして勤勞を嫌厭せしめ墮落せしむべきを以て、其の早きを以て良し

とし、其の除隊は一時に爲さずして順次解放するを可とす。

- 一、除隊兵に對して下付さる、賜金は、屢々彼等をして、當分放棄なる生活を爲さしめ、囊底を拂ふまで勤勞に赴かしめざること、南阿戰爭後實見せる所なり。之に對しては予は、月賦支給方法に依るを最も策の得たるものなりと信ず。
- 一、以上の問題は陸兵に就き主として生じ、水兵は皆戦後從前の職業に復歸し、何等特殊の研究を要せざること、經驗の示す所なり。

除隊兵と
平和克復
後に於ける
經濟界の
變動

今次戰爭の終結に際して惹起すべき最も困難なる問題の一是、各軍隊より解除せられたる多數の兵士に對し、如何にして民間の業務を與ふべきかに存すべし。之に關しては、已に當路の人士にして、深く之を憂慮する者も少しとせず。常備軍にして將來比較的長期に亘り、其の巨大の數を保持すると假定するも、尙數十萬の人は、其の職業を得むことに吸々たるべし。而かも軍需品の製造に従事せる無數の會社が、俄かにその使用人を減じ、且多くの場合に於て、平時製品のみ製造に復歸し來らむか。其の所要の製造額は、少時の間比較的僅少なるに至るや必せり。之と同時に國內に於ける輸出品製造工業は、平和克服の後、直ちに豫期せらるべき商業界に於ても、尙其の復興の必要を認むるに至らざるべし。

此の問題たるや、已に世人の記憶に存するが如く、南阿戰爭の終局に際しても、重大なる研究問題として論議せられたり。這次の戰爭の終局に於ける、此の種の困難が、我軍隊の數に應じて、其の程度を増大するの恐れあるものとせば、國家將來の幸福に關して、此の際一片の殷憂を抱懐することの、強ち理由なきに非ざるを知るべし。

然りと雖、現時我大なる軍備の組織に就ては、寧ろ此の問題の意義を變更し、且或る點に於ては、其の解決を遙かに容易ならしむるが如き特質を有せざるに非ず。多數の新募集兵は、往時に於て、殆ど正規兵中に見ることを得ざりしが如き種類の民衆中より募集せられ、且其の多くは、除隊後直ちに其の入隊當時在職せる職業に復歸し得べきことに關し、確乎たる保證を得たるものなりとす。是の故に其の入隊の當時に於て、一週三十志以上の所得を有したるが如き者に關しては

除隊兵の
二種類

敢て爰に緊急なる勘考を必要とせざるべし。
然りと雖も多くは、此の戦役の初期に於て入隊せる者にして、當時一定の職業を有せざりし多數者の場合に於ては、大いに其の事情を異にするものありとす。即ち定職を有せざる労働者、浮浪人の生活を爲せる者、永く職業を有せざりし者、一般に技術あり、勇氣ある兵士たるの素質を有するにも拘らず、而かも善良なる市民たるの素質に於て缺くる所ある者の場合の如き、是れなり。

一大難問

爰に此の問題の一面にして、看過すべからざるものあり。即ち吾人は、吾が軍備の成功したる結果として、平和の到来は、容易に之を確信し得べきを以て、此の戦役後に於ては、勝利者として世界の各方面に於て、秩序階級の人に對しては、何等有害ならずと雖も、而かも往時の常職なき労働者又は働く必要なかりし故に、若しくは、金錢に對し甚しき執着心を有せざるが爲に、漫然職を求めざりし者に對しては、毫も其の性格を堅實ならしむるの助けとならざるが如き、悲しむべき生活状態を保持する者多きに至るべし。蓋し眞に困難なる問題は實に此の種の人々に關して、惹起するものと言ふべきなり。

南阿戦争後
に於ける
除隊兵
の就職
状況

南阿戦争後に於ては、騎兵隊又は砲兵隊に勤務せる除隊兵士をして、正規の業務に服せしむることに關し、困難を感ずることなかりしこと例多かりしと雖、歩兵の場合に於ては、堅實なる業務に適せざるを發見せること屢々なりき。予の経験に由りて之を見るに、數百の労働者を使用し、且除隊せる兵士を採用せむことを欲する多くの會社に在ては、其の多くが屢々數日後に於て、其の就業を拒否するの理由を以て、將來歩兵を其の會社に推薦せざらむことを希ふに至れり。然れども予が彼等除隊兵士に就きて、親しく其の意見を叩きしに、彼等が自ら其の職務に對しては、常に其の全力を傾倒したりしことを確信する旨を以て答へたり。此より推せば、其の言ふ所に、一面の眞理無きに非ず。彼等が其の業務のあまりに過激にして、其の體軀を屈曲せしむることの多きに堪へざるを陳述せるも、強ち怠惰者の口實とのみ言ふべからず。蓋し軍隊加入以前に於て、彼等が従事せる難業に對し、長く親しまざりし結果、再民間生活に復歸するに當りて、其の同一

の業務を、甚しく過重視するに至ることなきにあらざるか。

南阿戦争後
に對する
戦争後と
の相違

然りと雖南阿戦争後に於て、屢々發見せる歩兵科除隊兵の此の外見上の缺陷に對する理由は、直に之を以て對獨戦争終局後に適用し得べきにあらず。我老兵の言ふ所に依れば、南阿に於ける戦陣生活を以て、現戦役の勞苦に比較せば、前者は單に一場の遊山に比すべきが如き種類のものに過ぎず。然るに這回の戦役に於ては、戦線にあると内地に在るとを問はず、兵士は悉くその入隊以來、諸種の方面に於て、凡ゆる難業に服役しつゝあり。軍務上の不斷の勞苦は、之を戦後に於ける私生活上の勞役に比して、些かも劣る所あらざるべし。是れ予の喋々を要せざる所なり。

然れども吾人は、南阿より歸來せる兵士、及過去に於て印度の軍隊より除隊せられし兵士が、長き且或一部に於ては極めて烈しき、殊に前者に在ては、殆ど熱帯の全幅に亘る暑熱中の航海に苦惱せし事實あるを忘るべからず。數週間の活動の中止は、彼等の身心に悪影響を及ぼし、且酷熱中に於ける運送船内の不自由なる生活は、必然人間の活動力を低下せしむるの因をなせるものと謂ふべし。

不熟練労働者

其の使途に關し、困難を感ぜしむる者の大多數は、彼等の多くが不熟練にして、隨て普通労働者と、甚しく相違せる資格に於ては、使役に適せざることを記憶せざるべからず。曾て一大鐵道會社に於ては、數年間、性質善良なる除隊兵士を雇傭せることありき。尙將來に於ても、其の方針を持續すべく、同時に郵便局及他の官廳に於ても、彼等の幾分に對しては、其の職を與ふるに吝ならざるべし。而かも尙無數の無職業者あるを奈何せむ。

大製鐵工場及請負師等が、其の工場に此の種除隊兵の多數を、直に收容するの不可能なるは、已に疑ふべくもあらず。故に若し何等かの不幸にして避け得べしとせば、地方及都市當局者は、平和の曙光を認めたる場合、直に其の兼て延期したる公共事業に、着手の計畫を成し、且陸軍省に對して、是等の地方事業に使用し得べき労働者、及他の未熟者の概數を報告すべき様、地方及都市當局者の間に、適當の方法を協定するに務むべし。さすれば、此の目的に對して、最良なる効果を擧ぐることを得べし。此の報告に接し、陸軍省當局者は、或る一地方に於て、多數の兵士を除隊する場合、復歸すべ

地方公共
事業の着手
と除隊兵
の採用

陸軍當局
と地方官
局との協
定

政府の事
業と除隊
兵の採用

き業務を有せざる者に對しては、將に着手されむとする公共事業に關與せる地方官吏、又は會社の役員に、其の使役を申込むべきやう指示することを得べし。予の想像する所に於ては、如上の協定は、左記の方法を以て之を行はゞ可ならんか。爰にその聯隊本部より免除せられたる兵士にして、前途に何等の業務を有せざるものありと假定せむか——假令ばアツシトンに於けるマンチエスター聯隊より、又はバアンレーに於けるイースト・ランカシアヤ聯隊、又はランカスターに於ける近衛歩兵ランカスター聯隊より除隊せるマンチエスター人の場合——彼等は、引例としてマンチエスターに就いて言ふ場合に於ては、プレストン・バアンレー・ブラックバアン、又はオールドハム等に於ける都市、又は其の他に於ける事業に就きて、通告を得べく、且斯くの如き事業に就役するの意あるや否やに就きて、其の意見を徵せらるゝを得べし。若し彼等にして就役の意あるを示さむか。當局者に對して、一通の電報を發し、該事業に於てマンチエスター聯隊のジョン・スミスなるものを使役するを得るや否やを照會すべし。而して之に對する返電の到達するまで、其の兵士は其の聯隊に留まることを得しむべきものとす。此の方法の採用に由り、是等除隊せる多數者の爲、直に適職を得しむるを得べし。之と等しく、地方當局者が事業を企圖し得ざるが如き、地方に於ては、一大國家事業を企圖するも、亦難きに非ず。例へば等しく多數の人員を要すべき復林事業 (reafforestation) 又は海岸埋立工事の如き是れなり。

更に農務局の協同事業を行ひ得る場合に於ては、都市よりも寧ろ田園に對して、多大の嗜好を有し、繊細なる手工上の技術を有せざるものの幾分は、甚しき困難を感じずして、本國內に其の位置を求むることを得べし。

同時に内地に於て、其の職を求めず、却つて國外に移住せむことを欲する者に對しては、殖民地に於ける、彼等の移住地を整理する爲、帝國政府及殖民地政府の協同事業として、特別の便宜を提供すべきものとす。多數の兵士が、其の故郷の都市に歸來し、而かも何等の職業をも得ざることあらむか、是れ彼等の勇武義侠に對して、餘りに不幸なる報復に非ずや。

然りと雖、一朝平和克服の時機に際し、是等歸休せる兵士の徒食及不幸を防ぎ得る方法としては、予は前に提議せる所

除隊後速
に職を授
けるの利
益

を以て、唯一最良の策なりと確信するものなり。實に此の種除隊兵に取りては、其の軍隊生活を去りし後尙數個月間無職の状態に在ることを以て、無上の不祥事と思惟せざるを得ず。何となれば予は此の事たる、やがて彼等をして僅々數週間の経験を以てしても、已に堅實なる業務に従ふべきことを嫌厭するの氣風を生ぜしむるが如き、所謂木賃宿生活に墮落せしむるの恐あるを想へばなり。然るに之に對し、此の事の單に彼等の多くが、安宿に居住し、且入隊以前、長く無職の状態に在りし故に、特に慨嘆すべきなりといふは、蓋し至言にあらず。彼等が、長く嚴格なる規律の下に服従せる事は、寧ろ彼等に取りて、全然有利なりしと言はざるべからず。蓋し彼等は自ら重なるの念を知り、已に社會の階級に上りし者なるを以て、彼等にして軍隊より、直に適當にして正當の報酬を得べき職業に就くことを得ば、彼等は必ずや其の経験によりて、優良なる利得者となり、且堅實なる労働者となることを得べし。

然れども少くとも戦後一年間、即ち人物の拂底を感じる際に當りては、吾人は労働者の雇主が多くの除隊兵士に對して、満足なる選擇を行ふことを、彼等に期待するは、不可能の事なるなきやを思ふ。國家有事の秋に際し、其の身命を賭して、邦家の爲に盡せる是等無数の勇者が、都市の街路に彷徨して、其の職を求むるに當り、一方其の都市に於ける雇主が、是等就職せむとする者に對して、其の職を與へむと欲するにも拘らず、遂に彼等が之を得ざるの事實あるは、實に國民生活の上に、最も不良なる影響を及ぼすものと謂はざるを得ず。是に於てか吾人は、此の如き屢起り得べき軍人としての不面目を皆無ならしむが爲、豫め警戒する所無からざるべからず。

茲に他に今一事、慎重なる考慮をなさざるべからざるものあり。今次の戦役終局と同時に、除隊兵士の全部に對しては、賜金の下付を見るに至るべし。予は此の賜金の下付に對し、敢て非議するものにはあらざれども、此の事たる明かに危険の要素を含有するものなることを憂慮せざるを得ず。蓋し數磅に上れる賜金は、一時に其の全額を下付せむよりは、寧ろ月賦金として支給するを可とす。定職を有せず、且一定の住居を有せざる者に對して、殊に然りとなす。如何となれば、家屋を有せず、定職を有せざるものに在ては、彼等にとりて、比較的多額なる金額を、一時に其の財囊中に貯ふるこ

除隊兵に
對する賜
金の下付
の方法

一時に賜金を下付するの弊害

とは、やがて彼等の所謂「飲み相手」と共に飲酒して、徒に無益なる快樂に耽るの機会を得しむるに過ぎざればなり。予は、此の種下賜金の事に關する規則を熟知せずと雖、彼の南阿戰爭後に於ては、除隊せる兵士が、一時に賜金又は其の他の名目の下に多額の金員を得、而かも忽ちにして頽唐賤劣なる娛樂に浪費し去りたるの事例、枚擧に暇あらざるを知る。加之斯の如き浪費を別として、尙予は其の當時、多額の金を手にしたる者が、(從來彼が入手せるより遙かに多額の金員を得たる故に) 少くとも當分は、職業を得るの煩勞を敢てするの要なしと思惟して、其の家郷に歸來せる者ありしを疑はず。

此の種の者に在ては、其の所持金を消盡するまでは、求職の運動を試むること稀にして、偶々其の運動を始むるに當りては、已に數週又は數箇月に亘れる怠惰の結果として、其の能力の減退を來せるが爲、自己の快適とせる特殊の業務を求むる場合の如き熱心を以て、其の職を探求すること無きに至るを常とす。

是の故に、其の額の如何を問はず、賜金の下付せらるゝ場合に於ては(予は暫く其の額の削減に就ては之を論ぜざるべし、賜金受領者が其の職業を得て、正當なる市民生活に入るに至るまでは、毎月其の生計の基礎として、一定せる少額の收入を得べき様、除隊後最初の一年間、之を月賦として分與する方法を講ぜむことを望む。果して然らむか。乃ち此の賜金の價值及効果は、必ずや更に増大するものあるべし。此の方法を以てせば、やがては兵士が其の除隊と共に、家郷に携帶する金額の浪費を防遏するに難からざるにあらずや。

予の論文の命題は、「除隊後に於ける兵士及水兵」なるを以て、予が茲に多く陸兵に就いてのみ論議せるは、些か異とするに足るが如しと雖、水兵に關しては、特殊の場合の外、何等の困難を感ずること無きを確信す。

陸兵と水兵との相違

予の経験に據れば、已往に於ては、陸兵にして安宿に宿泊する者の頗る多數なるに反し、水兵にして同所に客たる者殆どこれなきを知れり。而かも雇主に於ても、除隊せる陸兵の雇用を欲せざるに反し、常に手業に長じ、且長き訓練の結果、勤勉なる労働者たるに適せる水兵を雇用せむことを熱望す。尙予は現職役後稍と長期に亘り、彼の一派論者の如く、

我海軍勢力に、多少縮小の行はるべきことを假定して、推論せむとするものにあらず。而して商船の船員及漁夫等の場合に於ては、彼等除隊後は、必ずや再其の職に復すべきを以て、除隊せる海軍兵士に關しては、何等特殊の問題を保留することなかるべし。

除隊兵を職業生活に入らしむべき最良の方策

最後に於て再言はむと欲す。已に南阿戰爭後に於て、除隊兵士使役の問題に關し、少からざる困難を惹起せりと雖、(之に關し何等特殊の計畫も企圖せられざりき)、次に言ふ所の方策を講ずるに於ては、我新編成軍の兵士が、其の市民生活に歸還するに當りて惹起すべき影響に關し、徒らに過大の憂慮を抱くの要ありとは思意せず。

即ち此の目的の爲、兵士の除隊は徐々之を行ふべく、且市當局者、地方政廳及陸軍省、相互間の周到なる協力に由り、除隊せる多數の兵士をして、平和克服後に起業すべき諸種の事業に使役せしむるやう、十分なる合議協定を爲し置くこと是れなりとす。尙幾多の機關にして、敏腕なる實業家により、適當なる時機に於て、優透なる方法を以て計畫されむか、其は銃剣を犁鋤に代ふるの時に當り、幾多重大なる難關より、國家を救済するに至大なる効果を奏すべきは、言を俟たざる所なり。

(一九一五年七月英國慈善機關雜誌所載)

第二節 佛國に於ける廢兵職業再教育

〔摘要〕 一、本篇は佛國に於ける萬國救済協會の席上に於て、佛人ブールリオン博士の演述したる所に係り、廢兵に職業を授くるの方法より、更に廢兵の職業教育上に於ける國家、地方團體等の任務及其の實狀に論及せるものなり。

一、前世紀に於けるが如く、廢兵に何等の職業をも與へずして、終身之を救養院に收容するは、道徳上社會上極めて危険なり。重傷の爲に生業能力を失ひたる者の如きも、宜しく其の恩給金を増加して、所謂家庭的救済の方法を探るを優れりとす。

- 一、名譽ある瘡兵に職業を授くるは、道徳上社會上必要なるは勿論にして、殊に千九百十四年第一期に於ける死亡数が出生数に超過せるの事實を見れば、不具者と難徒らに之を抛擲せず、國家活動上の貴重なる要素として、出來得る限り之を農工商の事業に利用するは、佛國經濟上の急務たるを知り得べし。
- 一、瘡兵に職を授くるに當りては、先づ精神上の修養を爲さしむると共に、其の身體に就いても亦職業に服するに足るべき準備を與ふるを要す。瘡兵をして其の生業能力を十分に發揮せしめむと欲せば、其の不具の狀態は勿論、更に其の性質及知識技能の程度を考量して、適材を適所に置くの策に出でざるべからず。而して之が爲には、瘡兵をして成るべく舊職に復歸せしむるを可とす。
- 一、舊職に復歸すること能はざる瘡兵に對しては、新なる職業に就き得べき教育を施さざるべからず。瘡兵の職業教育上、最も至大の任を負ふ者は政府なり。現に政府は此の種事業の創立及經營費として本年（一九一五年）中に四十萬圓を支出せむとす。
- 一、今政府各省の事業を見るに、内務省はセン・モリス市に在るヴァンカシー療養院に瘡兵の職業講習所を附設して、各種の職業教育を施し、更に巴里市ロンドレー街に在る療養院附屬病院を設けてセン・モリスの講習所に課程なき職業を學ばむとする者を收容せり。各省官吏を以て組織せられたる瘡兵職業教育機關に關する調査委員も、亦内務省の主張に依りて設置せられたる所なり。
- 一、商工務省農務省は瘡兵の實業教育を奨励し、文部省は瘡兵に補習教育を授けむことを勉め、勞務省、陸軍省も亦瘡兵をして舊職に復歸せしむるの策を講じつゝあり。
- 一、地方團體に於ても、亦瘡兵教育機關の設あるは勿論にして、就中里昂市の施設は最も模範とするに足るものなり。

※ ※ ※

萬國救濟協會が、不具及瘡疾者を救濟して、之に職業を授けんとするの問題を研究せむが爲、會議を開きたるは、一再に止まらず。既に千九百一一年（明治三十四年）四月、本會場に於て、余輩は本問題に關し、一片の報告書を本會に提出し、下記の決議を採用せしめたることあり。

(一) 勞働者が疾病若くは變災の爲、不具者となりし時に當り、其の不具の状態に應じて、相當の職業を授けずむば、

千九百一十一年
萬國救濟協會
の決議したる
採用的救濟

自ら生計を營むの途なきを以て、其の勞働者の爲救濟機關を創立し、之に徒弟教育を施し、相當の職業を與へ、且之を保護すべきこと。

(二) 其の救濟は勞働の不可能を誘致すべき疾病、若くは負傷の快復したる後可成速に行ふべきこと。

(三) 不具者に徒弟教育を施し、之を保護救濟せむが爲には、左記の事項を實行すべきこと。

(甲) 聾啞教育會、中央救濟協會、及盲人救濟協會、即ち「ヴァランテン・オーイ」協會と同一の原則に基き、一種の協會を創立すること。

(乙) 不具者の救濟所内に、徒弟教育工場を創立し、若くは其の救濟所外に徒弟を教育すべき機關を創立すること。

(四) 不具者は、親方の工場に於て、又は學校に於て、徒弟教育を授くるも亦可なりと雖、學校に於ける精神教育及職業教育は、親方の教育よりも、其の効果遙に顯著なるを以て、特別の工場に於て、之を收容教育するを優れりとする

こと。

(五) 不具者に授くべき職業教育は、各不具者の體質に適應すべきは勿論なりと雖、本人に相當の賃銀を確收せしめ、且自宅に於て經營するを得べき職業を選択するを要すること。

該決議の
實行は刻
下の急務

余輩が該決議を再び茲に撰述するの必要ありと信する所以のものは、今や該決議の實行、既に焦眉の急務となり、且該決議は、恰も戦時の不具者に適當せらるべきを以てなり。又該決議は既に名譽ある國家の守備者の爲、教育機關を創立せむとする調査討議の基礎となりたりと雖、惜らくは其の決議は尙調査の時代に在り。是れ實に本協會の事業と利害關係を有する意外の事件にして、社會の連帶責任に係る大事業の遂行は、既に輿論の容るゝ所となり、且議會に於ても亦屢其の調査に着手せり。

(一) 瘡兵に職業を授くるの方法

今回の事變に際しては、憂愁悲哀に堪へざる慘事は、殆ど屈指に遠なきも、殊に其の災害の最も怖るべきにより、輿論

所謂不具者の意義

を感動せしめたる惨事の一は、巨萬の軍卒を痛苦せしめむとするの惨狀に在り。怖るべし、近世の戰場に於て使用せらるゝ戦術は、市民を擧げて、不具者たらしめむとす。是れ實に一日も忽せにすべからざる刻下の問題にして、彼等動もすれば自ら生活の途を立つるの、嘗に至難なるのみならず、往々不可能なるに至るを以て、是等名譽ある不具者の將來如何は、目下識者の最も憂慮する所なり。余輩の茲に所謂不具者とは、嘗に四肢を割斷せられ、若くは負傷せしが爲、四肢若くは身體の機關を完全に活用するの便を失ひ、其の労働能力に多少の傷害を招きたる者を總稱す。

四肢を傷害し、若しくは割斷せられたる不具者は、世人の最も同情する所なるを以て、之を救済せむとせば、輿論は必ず進で之を歓迎することゝならむ。而して不具者の將來如何を憂へ、之を救済せむとするに當り着眼すべき要點は、不具の状態と其の職業との關係如何を審にするに在り。

不具者救済すべき要點

聾者及盲者の教育も、亦甚だ有益なる問題にして、彼等も戦時に於ける他の不具者と毫も異なる所なしと雖、彼等の労働法は普く世に知られ、且慈善事業の大家が既に時久しく經營せられたることなれば、聾者及盲者の教育に就ては、余輩は毫も茲に研究するの要なし。

戰場に於て不具者となり爲に自ら生活を營むことを得ざるは勿論、併せて其の家族をも扶養することを得ざるに至りたる者をして、名譽ある生涯を遂げしむるに務むるは、實に國民の本分なりと謂ふべし。

恩給金の不足

戰場の負傷者に給與せらるゝ恩給金は、假令現行の恩給率を増すも、未だ前陳の目的を達せむとするに足らず。然るに現時の恩給金高は、佛國政府に採りては、實に驚くべき過重の負擔なるが故に、今後之を減するの必要あるも、決して之を増すべからず。嘗て伯林市の某新聞は報じて曰く「獨國の恩給金高は、一箇年十億馬克(凡五億圓)以上に達せり」と。前世紀に於ては、有名なる癩病院を創立し、其の廣大美麗なる建物は、今も猶ほ存在し、明に其の痕跡を残せり。然れども今日に至りては、實に莫大なる費用を要する癩病院再興の計畫は、決して立つ可きにあらず。今翻て古の癩病院建設維持の費額を考ふるに、刻下の問題たる數萬の負傷者を、癩病院に收容するに、如何に莫大なる費用を要すべきか、推し

癩兵の終身救済は危険なり

て知るべきなり。殊に負傷者を收容し、全く労働の途を與へずして之を徒食せしむるときは、各方面に亘り、極めて不道徳なる弊害の發生すべきや疑なく、假令老衰者と雖も、全く他に之が救済の途なき時に至り、始めて救養院收容の方法を用ふべきものなり。況や這次の戦争に際して、負傷したる壯年者に對しては、其の負傷の程度に應じ、職業を授け得るの途あるに於ておや。由是觀之、戰場の不具者、即ち癩兵を、終身救養院に收容せむとの説は、斷然之を排斥せざるべからず。

工場附設救養院の利

又負傷者を救養院に收容し、特に院内に工場を設置し、彼等をして各々其の能力手腕に相當する労働に服せしめ、之に對し相當の報酬を給與せば可ならずやとの意見を懐く者もありと雖、其の意見も亦經驗上に照し、其の不可なること明瞭なり。右の如き場合に於ては、本人は固より衣食に缺くことなきを以て、其の労働を衣食に供せず、動もすれば之を濫費するを免がれず、就中彼等は其の所得を酒舖に於て費消し、其の所得の多きに隨ひて、愈々彼等は飲酒に耽らむとするの傾向あり。是れ世人の普く知る所なり。元來労働は、無上なる精神修養の手段たるべきにも拘らず、其の労働の効力は、酒精の爲遮へぎられ、却て破廉恥不規律の原因となるを以て、之が爲め不具者の救養院に於ては、其の労働を制限するに止まらずして、終に之を禁ぜざるを得ざるに至るべし。

重傷者救済の方法

戰場に於て重傷を蒙り、有益なる日々の労働を以て精神を慰安せむとするの途を失ひたる者は、比較的稀なるも、斯の如き薄命者の爲、其の收容所を創立せむとの計畫は、敢て不可なしと雖、之に優れる良策を立てむと欲せば、彼等の恩給金を増し、之をして家庭に生活せしめ、他に家族なきときは、本人の看護に注意し、且日々の生活上、本人の扶助を辭せざる家庭に生息せしむるに若かず。是れ所謂家族的救済の方法を實行するに外ならず。

不具者に對しては、嚴格なる規律の下に業を授くるの組織を定むべきなり。是れ實に彼等に對し、佛國民の決して辭すべからざる慈悲心と感恩の情誼とより來れる當然の義務にして、經濟上に於ても、亦國家の急務なりと謂ふべし。

現に戦争前に在りても、佛國に於ては、殆ど各種の工業界に於て、工手に缺如したるにあらずや。然るに今や佛國壯丁

不具者に
業を授け
るは経済
上の急務

の戦場に倒るゝ者、其の数を知らず。千九百十四年（大正三年）第一期の出生死亡の統計に照らすに、其の死亡数は、著しく出生数に超過せり。若し一たび此の點に顧み來らば、今後如何なる状況を呈すべきや、實に憂慮に堪へざる所なり。今や廢兵の生産力如何を篤と調査し、如何に其の勢力衰退せりとも之を利用し、之が救済の良策を立つべき時にして、決して一日も猶豫すべからず。然るに其の不具者は頗る多数にして、彼等は佛國の農業、工業及商業上に於ても、亦今後諸國民間に起らむとする經濟上の競争場面に立ち、極めて重要な地位を占め、且國家活動の上に於て、貴重なる要素たるを失はず。然るにも拘らず、之を抛擲して顧みざるが如きは、迂も亦極まれりと謂ふべし。

其の他道徳上及社會上より觀るも、名譽ある廢兵をして永く賤劣なる閑地に生息せしめ、其の危險を顧みざるは、恰も怖るべき境遇に向つて、彼等を驅逐するものと謂ふべし。故に此の問題を解決せむとするには、社會が彼等に對し相當の義務を有する以上、彼等も亦戰場に於て難戰苦闘の後、猶ほ餘力あらば、其の技倆と意志とを祖國に捧げ、其の能力の範圍内に於て、祖國の經濟復興に協力すべきことを、彼等をして了解せしむるを要す。

廢兵の精
神の偏向

戰場の不具者は、動もすれば稍々偏執したる特別の心を懷くが故に、前述の目的を達せむとせば、先づ其の精神修養の途を立てざるべからず。而して其の偏狹なる心を懷ける原因及結果に關しては、少しく茲に説明を試みるの必要あるが如し。

其の原因

不具者の心情を察するに、何れも今後勞働に服せむとの覺悟は、全く絶無なるが如し。若し其の精神の趨向を防止せずむば、其の結果は終に社會の爲めよりも、寧ろ彼自身に採りて甚だ恐るべきものなり。世の奸妄邪智の徒は、田夫職工の精神錯亂せるに乗じて彼等を誘惑し、甚だ忌むべき計畫を立てむとするを以て、其の傾向を阻止するの必要殊に切なるものあり。現に多数廢兵の口にせる『我身は今後如何成行べきや』との一語を聞かば、彼等は必ず之に乗じて言はむ。『足下は足下の權利を主張せよ、足下は國難に際し負傷したれば、政府は宜しく足下を扶養すべし』と。嗚呼彼等は既に不具者を煽動して革命運動を起さむが爲、廢兵を迎へて一種の「シンチダート」を組織することなき乎。是れ實に寒心に堪へざ

る所なり。

彼等は廢兵に對して、若し新に職業を營むこととならば、其の結果終に其の恩給金高を減殺せらるべき所以を舉示して、之を誑かさむとし、其の實情を證明するに足るべき途を考究して止まざるが故に、其の妄説を反駁するには、恐らく日も亦足らざるべし。然り、廢兵の勞銀は頗る高く、戰爭前に於て、本人の利得となれる賃銀に比し、實に之を超過せり。然れども、固より之が爲に其の恩給金高を減殺せらるることなきは、言を俟たざる所なり。

彼等が廢兵を勧誘し、其の怠惰と反抗心を促さむとするの助言は、之を主張囑言するの地方に依りて、愈々恐るべきものあり。佛國の成年一廢兵は、久しく苦惱したる後、大手術を受け、神經劇動して、爲めに頗る疲羸し、身體の諸機關は、忽ち其の平均を失ひし者あり。此の如き身體の劇變は、其の精神状態に極めて深き感動を與ふるものなり。

其の救済
策

廢兵の要求希望を容れず、且之を利用すべき機關を設けず、終に彼等の間に前述の如く甚だ忌むべき趨勢を馴致せむとするは、此れ豈に社會の罪にあらずや、吾人は宜しく各自の過失を改め、勇を奮ひ衆を勵まし、務めて其の惡結果を防止すべきなり。

人身補足器の供給は速ならず、不具者の再生を計らむとする事業は、等閑に附せられ、彼等の家庭收容は妨害せられたり。隨て終に止むを得ず、之を療養院に收容することとなれり。然れども近來補足器の供給と不具者の再生を計らむとする事業とを迅速ならしむるに足るべき、相當の處置を採られたるは實に幸にして、是れ就中吾人の希望する成績を擧げむとするものなり。何となれば不具者をして徒に療養院に呻吟閑居せしむるときは、其の精神に惡傾向を醸し、精神上の傳染病は、漸次全員に傳播し、終に療養院は、人心腐敗の大團結、若くはその中心となるべければなり。

故に前述の如き状態を憂ふる多数の有志者は、彼等に娛樂の具を供し、彼等をして各種の斯業に慣れしめむとするに熱中せり。蓋し其の娛樂は、外見上無難にして有益なるが如しと雖、恰かも疲瘠せる土地には、如何なる良種を播布するも、其收穫の甚だ微々たるが如く、其の娛樂は、却て惡結果を來すこととならむ。假令嚴格なる禁令の存する在るも、彼

等が金錢を弄ばむとするは、自然の勢なるを以て、其の遊戯は、未だ之を知らざる者にまでも傳播せむ。又不具者に先づ輕易なる職業を授け、更に進で重要な職業に就くべき素養を授けむとするは、巧妙なる手段なるや言を俟たずと雖、是れ又却て不具者をして其の職業を忌避せしむるの虞れあり。不具者は其の些細なる製作品の實價よりも遙かに高價に販賣せられ、利益を獲得するの便を得るが爲、其の生活に甘んじて、愈々其の收利の多きを期待し、飽くことを知らざるの實あり。

精神上の修養

以上述べたるが如く、不具者の精神状態は、各種の原因より起れりと雖、其の責任の過半は、之を社會に歸すべく、又假令社會が彼等に對して冷淡なるが如き觀あるも、社會が其の過失を改むれば、國家を防禦する勇者の信する所とならむ。若し復活されたる壯者の血液が、其の血管に充滿し、前述の如く忌むべき影響を免がるゝに至らば、彼等は必ず郷土に復歸し、家に在りて家族に親しみ、各自の恩給より獲る資力は、到底生活を立つるに足らざるを以て、勞働を以て之を補足するの必要を感じ、勇敢なる戰鬥員は、變じて温良勤勉なる職工たるに至るべし。余輩の故に主張する事實に就ては、證據既に明白なり。何となれば、勞働者及徒弟の募集に應ずる者は、就中負傷後家庭に歸還し、其の健康恢復せし者其の多數を占むればなり。

然れども病院内及收容所内に在る負傷者が、動もすれば恢復の後、如何にして再び生計を營むべき手を憂へ、萬事に躊躇するの状は、同情に堪へず。故に在院の利害を明かに知らしめ、且其の精神を維持する爲、勤勞心の傳播を鼓舞することを怠るべからず。然れども瘵兵をして、悉く勤勞の必要に承服せしむるは難し。若し承服せずして今後時日を経ば、不幸なる瘵兵は、己れの過失よりして、孤獨貧賤の境遇となり、悲むべき社會の落伍者となるに至るべし。是の時に至りて彼等の爲、吾人の保護助言最も必要なりしの際に際し、之を承服せざりし非を忘れ、却て後日に至り、彼等を顧みざることを怨むが如き事あるべきも、此れ果して何人の罪とすべきぞ。

猶ほ茲に附言せむとするは、凡そ何事業たるを問はず、之を普及せむとするには、先づ確固たる意見を立て、眼前に於

て之を實行せざるべからず。若し善良なる市民に、勤勞を勧誘しながら、偶々彼等が就職を請ふ時に至り、之を顧みざるが如きことあらば、其の効果の微々たるや、固より明かなり。

負傷者の體力が、果して其の職業に堪ゆるを得べきや如何を試みずして、之を工場に誘はんとするは、殊に不可なり。蓋し負傷者中、其の生業能力を十分に發揮せむが爲、職業上の豫習を経ずして、工場に出入するを得べき者は、極めて少數ならむ。彼等精神の修養を計るが如く、其の身體に就いても、亦勞働に服するに足るべき準備を爲さざるべからず。

職業の道

瘵兵を其の技能に適したる職業に就かしめむとするの事業は、精神上より察するも又財計上より觀るも、決して忽がせにすべからざる、緊切重要な事業なり。何となれば、若し巧妙敏捷なる治療法を用ひ、各瘵兵の勤勞性を直に發揮せしむることを得ば一方に於ては、新に一種の職業を取得經營せむとする勞を省き、他方に於ては、彼等に拂渡すべき衣食費を大いに減すべければなり。嘗て佛國有名の一外科醫が、「是れ實に佛國將來の豫算上、數百萬法の減額とならん」と言ひしは、實に至當の言と謂ふべし。

陸軍衛生部に於て、瘵兵を官吏に養成せむとするの機關を、各地に創立したるは、前述の如き二種の理由あるが爲にして、其の良好なる事業を、如何に慶賀すべきや、殆ど其の詞なきを覺ゆ。

瘵兵に最も巧妙なる教育を授け、且最も實際有用なる一種の義手義足を與へて、之を職業に服さしめむとするの議は、既に決定せられたる所なり。然らば其の結果は如何。

幸にして多數の瘵兵が、舊職に復さむことを希望し、且其の職業の種類と其の體格とに適切なる職業如何に苦慮せる態度を示し、將來愈々難職に當らむとするの意氣を現はすあらば、其の前徴の示す如く、其の効果亦決して虚ならざること、固より明なり。是等は就中、農村の住民にして最も熱心に田園に復歸せむとの希望を示し、又市民中に於ても、上下混亂の悲境に座せるにも拘らず、田園生活の温雅なると、其の經濟上の利益とを信じ、田園生活の希望を懐く者あるは、最も奨勵の價値ある、有益の事實なりと謂ふべし。

成るべく
舊職に歸
らしむべ

然れども不幸にして、多数の廢兵は、其の恩給金の生計を営むに足らざるを視て、以て苦難なる労働と苦心とを要せざるの地位を占め、以て其の不足を補はむとし、動もすれば却て兇悍なる意外の覺悟を懐くに至るものあり。

其の他乞食を去ること遠からざる職業を営み、以て前者と同一の生活を遂げむと欲する者も、亦尠なからざるに似たり。廢兵中には、陸軍省より隨時給與せらるゝ恩給金の外、他に資力なき者も、亦決して尠からず。而かも彼等は直に若干の収入を得むことを希望せり。就中敵兵の侵略する所となりたる地方の住民は、其の状況極めて慘憺たるを以て、直に其の望を懐くは、固より深く咎むべきにあらず。顧ふに此等住民を收容扶助するは、比較的容易なりと雖、亦多少の危惧なきを免がれず。

最も公平にして且最も永續すべき職業を授くるを以て、其の職とする者の輕忽視すべからざるは、最も留意すべき所なり。凡そ相當の報酬を受くるの職業は、率先して其の職を求めたる者に對して、直に授けらるゝを例とすと雖、此の如くにし得たるの地位は、動もすれば確固ならざるの虞あり。

義に輕々に雇入れ、忽ちにして解雇したる者と均しく、現に其の職に在る者も、亦一見直に採用せられたることなれば、忽ち解雇せらるべきを虞れ、決して其の職に安じ得ざるの虞あり。

方今諸方に創立せらるゝ職業紹介所は、雇主と雇人との中間に立つに止まり、巨細の事項は、双方の熟議に委ぬるに過ぎずして、單に職業紹介事業を常職と爲さむとするに止まる。現時の状況に於ては、雇主及雇人双方共に急需に迫まり、心裡互に讓歩するの覺悟あるを以て、其の雇傭に關する相談は、容易に纏まり、雇人は忽ち就職することゝならむ。然れども數箇月、若くは數年の後に至り、社會の事物悉く平時に復したる曉には、其の状況果して如何。雇主は自然に減じ、且雇人の職務上に於ける拙劣と、其の過失とを宥看過せざることゝなるの虞なきや。若し同盟罷工の爲、少數の雇人を使役せし工場を閉鎖することゝなり、又は工場を所有する富人の死亡することもあらば、其の使役する廢兵の運命如何。若し廢兵が多藝なれば、忽ち他の職業を發見するの便ありと雖、何等の技藝なき廢兵を、此の際如何にすべき哉。

廢兵將來の危険

前陳の如き場合に於て、職工が何等の職業を有せざるも、其の身體強健なれば、土工・人夫・又は日雇人ともなりて、其の生計を營むことを得べしと雖、片腕片脚となり、殊に頭髮の將に雪を戴かむとする労働者の、最も苦難なる年齢に達せし者を、其れ如何にすべき哉。

由是觀之、廢兵を悦ばしめむとする一片の婆心より、猥に彼等を促し、職業に就かしむべからず。是れ全く彼等を貧困に陥らしめ、將來社會擾亂の原因を醸すものなりと謂ふべし。

若し其の危険を避けむと欲せば、須らく各廢兵天賦の性質に最も適當したる、眞正の職業を授くるに務めざるべからず。

(二) 廢兵の職業教育と國家並地方團體の任務

余輩は舊職に復歸することを得ざる數萬の廢兵の爲、如何にして前陳の成績を擧ぐることを得べき乎。請ふ少しく之に就きて開陳せむ。蓋し其の計畫は、頗る廣汎にして、複雑、且極めて困難なるべしと雖、余輩は各方面に亘りて誠意を傾け、姑らく其の事業の犠牲たらむとす。

方今公共團體及個人は、其の熱誠と温情とを以て、奮て驍勇なる戰闘員を收容看護せむとす。然らば、他日廢兵を教育して、溫良なる職工と爲し、佛國農工業の健實なる支持者たらしめむことを、彼等に期待するは、固より當然の事たるべし。

以下余輩は、試に此の鴻益ある事業の經營上、各自の任務に就て、少しく論ぜむとす。

先づ負傷したる國家の子弟に對する職業教育上、最も至大の任を負ふ者は政府なり。然れども果して政府は、自ら其の教育者たるを得べき乎。將た右の目的を以て創立せらるべき事業を、獎勵補助するに止まるか。政府は宜しく兩方面に向つて力を盡すべきものと信ず。凡そ廢兵教育の如き緊切重要なる事業を經營するに當り、避くべからざる多額の費用を負擔するに足るべきは、獨り政府あるのみ。政府は決して之を避くべきにあらず。此の如き佛國民の精神教育、及其の經濟上の勢力を増進せむとするに必要なる機關を再興せむとするに當り、政府争でか數百萬法の支出を拒むことを得むや。

廢兵の職業教育と國家の任務

方今に至るまで、議會は此の種事業の爲新に官吏を置かむとすとの一派の傳説に迷ひ、現制の下に必要な資金の可決に躊躇せるが如し。然れども是れ全く、議會の迷誤にして政府は方今既に善く整頓せる機關を管理しながら現時の如き異常の状態に遭遇して直に之を抛擲するが如きことあるべからず。若し政府にして些少の費用を吝まず、現時の行政官と慈善機關、兒童教育設備とを利用し、此の種愛國的事業に協力するならば、其の効果や決して空しからざるべし。既に政府は議會の協賛を経て百萬法（凡四十萬圓）を投じ、本年中に余輩の以下列記せむとする事業を創立し、其の中若干の事業を經營せむとするに視れば、其の證左や歴然たりと謂ふべし。

内務省と
療養院の職
業教育
モリス
兵の職業
講習所

内務大臣は地方局を経て國民の勤勞を統轄誘導し、又救済衛生局を経て、國民の精神上及身體上の健康に、密接の關係ある百般の事件を處理せり。現に七箇月以來セン・モリス市に在るヴァカシー國立療養院及避難所の附屬建物内に療兵職業講習所を創立せり。療養院に於ては七百個の寢臺を備ふ。方今に療兵をして、陸軍衛生部の官職に就かしむるが爲、其の將に採用せむとする者に對して外科手術を施しつつあり。同院の療兵は其の病狀に準じて、相當の待遇を受け、恢復審査醫員診斷を通過せし者は、ヴァカシー公園内に在る避難所附屬の工場に於て、職業教育を受くることとす。該工場には、仕立師、製靴師、馬口鐵製造師、馬具製造師自動車の技術を修めしめ及佛國農村に於て流行する農業用牽引器を修繕する機關師の業を習はしむ。該工場に於ては更に會計、工業圖畫（器械及裝飾品圖丈量平面圖等）の學科を教ゆ。其の他腕手の負傷者には先づ、小學教育を授け、其の傷痕全く癒えたるの時を以て、始めて普通寄宿生として、職業教育機關に移らしめ、從前の教育を繼續せしむ。

巴里
ロン
ドレー
街
療養院

巴里市ロンドレー街に在る、療養院附屬の空館には、其の附屬病院を設置せり。該病院は八十・九室に別れセン・モリス工場に其の課程なき職業を學ばむと欲する療兵、若くは親方の管理する工場外に於て實習し得ざる如き職業を學ばむと欲する療兵を、此に收容することとせり。是等の徒弟は、親方と官廳との間に、取交はされたる契約に基き、親方の工場に赴きて、其の徒弟となり其の期限内は病院に起臥し衣食も亦病院より供せらる。

其の他各種の機關は、療兵工場を中心なるセン・モリス工場の附屬となり。其の他各種の機關に於て教育する徒弟は、中心機關より給與せらるべき利益に浴し或は直接に補助金を受く。

セン・モリス教育機關の組織は頗る完全にして、職業教育に必要缺くべからざる事項を實習するの便を與ふ。今其の科目を擧ぐれば、完全なる精神教育、及體育、速成職業教育等にして、傷病の癒ゆるを待ち、本人の希望と利害とを察して、療兵を病院より徒弟學校に移し其の利益に與からしめ、或は親方の工場、若くは療兵收容の附屬工場に於て、其の教育を授くるものとす。内務省の努力は、此の如きに止まらず。同省の主張に従ひ、各省より吏員を選抜して一種の調査委員を任命し、巴里及各縣に創立せらるる各種の學校、若くは諸機關の創立計畫を審査し、此の如くにして議決を経たる補助金を諸機關に配當し、巴里ポルドーモンベリエー・ブルジュ・ツールズ・バイヨンヌ・リモージェ・ツール・バヴィヨン・スーポアー（エースタ戰場の負傷者用）ドゥブル・ラ・デリヴランド・プレスト・オルレアン・アンケーブ等の諸市に於て既に創立せられ、若くは今後創立せらるべき諸機關に對し補助金を下付する事を委任したり。

以上列記せし者は療兵救済の事業に於ける九牛の一毛に過ぎずして、此の種事業創立の請求陸續として、人の耳朵を打つ。學國一致して徒弟教育の爲有効なる經營を爲すの必要を感じたる所以を證するに餘ありと謂ふべし。

商工省も亦専門教育局、實業學校、及其の學術に長けたる同校の職員を経由し、又は商工業界との關係に依り、此の種事業に關して最も重要な任務を果さむとせり。

其の他商工務省は、其の所管の建物所有品、及教育の療兵の教育に利用せしめ、同省の激勵鼓舞に依り、クレルモン・フェラン・チエール・エルブーフ・オアイヨシナー・フル・ピロー・クリューズ・ロアンヌ・アンシエール・リリュニ・馬耳塞・ルアール・ジェルブル・ルビー等の地方に於ては、此の種の各學校既に創立せられ、又は將に創立せられむとす。

農務省に於ても、所管諸學校、及其の教授によりて蜜蜂飼養業、養鶏業、搾乳業、牧畜業等非常の努力を要する耕作の

療兵職業
教育機關
に關する
調査委員

商工省の
努力

農務省と
療兵の農
業教育

従事に不適當なる農民の療兵を農村に留まらしむべき各種の農家副業を善及せしめむが爲之に適應せる機關を組織することとせり。

グリギヨンヴェルサイユ・ホリギーの兩市に在る諸校其他多數の農業實習學校に於ては、溫和なる農村生活に安せんとする療兵を専ら收容することとなれり。

文部省と
療兵の補
習教育

文部省は、殊に有益なる方法を立てて、療兵を教育せむとし就中、腕手に負傷せし者は、工業界に採用せらるる範圍極めて狭まれば、特に其の志望を満足せしむべき學科を設けて彼等を收容し、必要なる小學教育の補習を行ひ其の教育を完成せむとせり。

勞務省は極めて緊要なる職工の保險及組合の事業に關する經驗を以て、療兵を助くるの使命を荷ふ、職工等も進んで曩に工場に在りたる同輩の再び教育を受けむとするに協力加擔せむことを切に希望せざるなし。陸海軍は亦義手足を供給し、平癒者には恩給金を給與し、速に之を病院より工場に移さむことを切に希望しつつ有り、唯惜むらくは、其の實行を見たるもの尙極めて稀なり。殊に同省の療兵保護事業は決して茲に止まらず、苟も勇敢なる療兵の職業教育を行はむと欲する者あれば、同省は必ず銳意其の事業を保護するに吝ならざらむとす。

以上列記せし舊業務復歸者保護の事業は、何れも各省の互に果すべき、普通の任務に外ならず。然れども政府が療兵に對して新修の職業を教ゆるを得べき方法に至りては、更に廣汎有力なるものあり。

恩給又は
賞金下付
後の療兵

既に上文に陳述せし如く、兵卒は傷病平癒し、恩給金若くは賞與金を受くることとなるも其の日用の額、二法に超過するは甚だ稀にして、往々一法にも足らざること有り。故に若し療兵が再び職業に就くの途を求めずむば、斯の如き些少の資金を以て、如何にしてか生計を營むを得べき。況や恩給金下付の後、家族の給與金なきを以て其の兵卒は、併せて家族扶養の重任を荷はざるべからざるに於てをや。是れ實に苦痛なる境遇にして貧困其の極に達し其の生涯の不運なる眞に憫むべきものなり。此等療兵の心情を察し社會の良心爲に大に動けるは固より偶然にあらずと謂ふ可し。

如何にして療兵等は、其の生計上の災厄を避けむとするや。顧ふに之を救はむとするには、職工徒弟給與金を支給するを以て、最も得策となす。其の金額は、療疾の程度、退隱料の金額、其他退隱料を定むべき各種の資料如何に従ひて、自ら高低あるべしと雖、其の金額に、更に恩給金を加算し、療兵をして其の地方に於ける職工の平均勞銀に相當すべき賃銀を收得せしむるを以て原則とし、若し其の職工が家族扶養の重任を負ふことあらば、其の給與金率を増加することとするは、蓋し機宜を得るの方策たるべし。

一定の年限を経過せば、給與金の拂渡を停止すべきは勿論にして、若し徒弟が一箇年の習業を経たるときは、概ね稍よ高率の報酬を受くるを以て如何なる場合に於ても其の年限は一箇年を超過すべからざるが如し。

然れども給與金を繼續して下付すべき者は、従前の職業に従事するに不適當なりと認定せられ、且實際上指定されたる工場に於て勞働する者の外、給與すべからざるは勿論なりと謂ふべし。

給與金の
制度の利
益

此の新方策の主なる利益は、療兵をして自身の生活は勿論、其の家族の生活を顧慮することなく、徒弟の年限間、都市若くは村落に於ける家庭をして、依然従前の生計を繼續せしめむとするに在り。假令如何なる僻村に於ても、其の地方特種の工場以外、製靴職仕立職、馬口鐵製造業等の如き工場、多數存在すべきに因り、療兵は其の何れか一工場に於て、適當なる職工を學ぶことを得べし。

農業も亦余輩の上文に陳述せし如く、今後多少の發展を視るべし。隨て負傷せし農民は新なる財源を此に發見すべきを以て、彼等は終に農村土着の民とならむとするに至るべし。

右に述べたる如く、各療兵は、新修の職業に就くに方りて、得る所の賃銀は、恐らくは甚だ高率なるを得ざるべし。然れども生活費の低廉なる地方に於ては、固より恩給金の不足を補ふて餘あるべし。

都會に於ては、徒弟は共同團體の工場、若くは私立工場に於て職業を學び、或は外來生として、特に療兵の爲に創立されたる實業學校に臨み、聽講するの便を有すべし。然れども徒弟が學校に臨むと、私立工場に出入するとを問はず、修業

之に對する二種の反對

中其の生活上、或は堪ふべからざる困難に遭遇することなきを保せず。是の故に徒弟給與金は事の實際に際し此の種の困難を排除せしむるに力あるべし。

本論に關し二種の反對あり。其の一は、給與金を受くる者が、實際上果して徒弟の修業を嚴守する乎を詳知すること困難にして、其の監督の實行は、固より不可能ならずと雖、而かも頗る至難ならむと言ふに在り。其の二は、徒弟の給與には莫大なる費用を要せんと言ふに在り。

給與金を受くべき廢兵の員數未だ明ならず、又給與金額及其給與規程猶定まらざるを以て、之が費用を見積るを得ずと雖、給與年數を一箇年に制限し、決して翌年に亘らしむることなく、又焦眉の急務に迫まれる者に限り、最も苦難なる時即ち廢兵が各々其の家庭に歸還せし時に於て、之を給與することに考慮せむことを要す。

又徒弟の給與金は其養成に與て力あるが故に、學校及工場の補助金は之が爲著しく減殺せらるべし。

以上の事實を觀察し來らば、其の費用は恐らくはさまでの巨額にあらざるべし。且其の事業を深く研究し嚴格なる給與規則及監督法を制定せば、社會連帶責任に關する各種の法律、殊に戰時の救助金より醸さむとする弊害を避くるの途とならむ。

徒弟に對する給與金の法則は、廢兵の身分に關する最も道德的且最も經濟的の解決法にして、若し廢兵に對し、其の初年に生活の途を與へ、且將來の安寧を圖らむとする職業を授くることゝもならば方今輿論及議會の懸案となれる問題を、巧に解決せしものと謂ふべし。

地方團體の任務

徒弟に對する給與金の下付は、余輩の記述せむとするが如く、府縣及市町村の事業、並私營事業の開設を促すことゝなるべきを以て、之に職業を教ふるは、敢て至難ならずと雖、最も避くべからざる難事は、徒弟の再教育中、之を養ふの一事なり。

假令國家の任務極めて廣大なりと雖若し國家が其の視力を巧に利用し、團體若くは個人事業の奮起を厚待庇護するの途

に通ぜば、蓋し其の結果は、得る所極めて多からむ。府縣及市町村にも、廢兵の用途に供せらるべき教育機關の備はるべきは勿論なるべきも、夫だ其の機關あらざる時は、之を創設せむことを切に希望して止まず。

實に里昂市は市の擔任すべき事業を奨励すべき好模範を擧示せしものと謂ふべし。

市町村若くは地方の教育機關は、廢兵を郷地に土着せしめ、且工業上の地方分立を便ならしむるものを以て、廢兵の教育上、偉大なる功績を擧ぐることを得べし。

親方の統轄する團體工場は、廢兵の手工を利用せんとするに極めて密接の關係を有すと雖今日に至るまで直接に廢兵の教育に加擔せむと欲する意思を發表するに至らず。現時商工業の状態は、止むを得ずして廢兵教育の重大問題を顧みざるも、彼等も頻に其の事業を懸望して措かず。現に職工總代會は、勇敢なる兵卒救助の重任、及職工缺如せるが爲、危険に瀕せる夥多の工場の再興を、僅に二三名の親方に委することを欲せず。彼等の協力應援は、蓋し廢兵の教育上顯著なる事績を擧ぐべきを以て、彼等が廢兵を無視せざるは、余輩の明言するに憚らざる所なり。

職工組合の任務も、亦決して輕からずと雖、果して如何なる事業の徵すべきものあるや、余輩は未だ之を知らず。

諸工業家は、頻に事業を起し、又個人に至るまで往々廢兵の爲頗る有利なる條件を以て、廣く廢兵を其の工場に採用することゝなれり。

工業家と廢兵の授

一切の工業家が、必ずしも頗る顯著なる事業を廢兵に提供せずと雖、廢兵の生活果して安全なるを得ば、各自の鑄造所、若くは工場に於て、廢兵の再教育を行ふ爲、至大の犠牲を辭せざる親方も、亦決して尠しとせず。

政府より下付する徒弟給與金は、恰も其の生活費に應ずべきものなりと雖、其の慶賀すべき援助は、前途猶ほ遼遠なるを以て、姑く之を俟ち、須らく先づ廢兵の救助協會を増加すべし。

以上説明せし如く、廢兵徒弟の救済機關は、其の經營頗る複雑困難なるや疑なかるべしと雖、以て其の機關の如何に廢兵を歡迎保護する乎を知るべきなり。

私設事業

私立事業も、亦癡兵の徒弟教育に協力せむとするの實跡を現はし、公衆が其の事業を迎ふる満腔の同情は、熱誠なる寄附の申込に依りて、自ら明瞭ならむ。之を要するに、癡兵の再教育は勿論、猶ほ救済及慈善事業に關しても、政府、府縣、及市町村の事業は、行政上の必要に驅られ、萬事意の如くならざるを視て、私立事業が之を安成し、其の事業の員數及其の勢力の間斷なく増進して止まざるは、實に慶賀に堪へざる所なり。

(一九一五年十二月十五日佛國慈善協會雜誌所載)

第三節 佛國リール市の戦傷者職業學校

〔摘要〕 一、吾人は前章に於て里昂市の戦傷者を市立病院に收容して看護に怠りなき狀況を述べたり。本章に於ては既に醫療の時期に經過せる不具者を、市立の職業學校に收容して之に職業の再教育を施し、以て彼等獨立の勤勞によりて社會に相當の地位を得せしめんとする有様を叙述せんとす。元來國家は戰爭の慘禍の爲不具癡疾となりし者に對しては、年金一時金等を支給して其餘生を保護すと雖、彼等の社會上の地位を向上せしむるに足らず。殊に單に一肢一眼を失ひたる者の如き、職業の種類によりては普通人と同じく行動し得るを以て、彼等に職業の再教育を施して再生の途を與へ、其社會上に於ける地位を向上せしむるは最も適切な業と云ふべし。これ職業學校の經營を促せし理由なり。

一、職業學校に二あり。其の有名なるものをジョツフル學校となす。今職業學校の科目を見るに普通教育の外、會社事務・速記術・タイプライター術・英語・露語を始めとし、工業的方面に於ては製靴業・仕立職・製本業・玩具製造業等の技術を教へ、又農業方面に於ては農法以外に花卉栽培、園藝法等を教授す。是等諸科目中最も志願者多きは製靴業と玩具製造業の科目にして、殊に玩具製造は最も盛況を極め、從來獨逸製品に壓倒せられたる産物は今や形勢を一變するに至らんとす。他日此の事業が佛國重要工業の一となり、佛國をして獨逸國の束縛を脱せしめ、新界に於ける經濟上の發展が更に他の勝利を招致するに至らば、蓋しジョツフル學校は其名に恥ぢざるべし。

一、以上の外尙二種の新事業は負傷者の活動範圍を擴張せり。其一は無線電信部の創立にしてベリー少佐の指

揮の下に開講し、其二は整形外科醫術部の創立にして慈惠院外科醫のノーウエジヨスラン博士の下に活動せり。殊に外科醫術は今回の戰爭によりて從來經驗せざりし諸種の病狀を發見したれば、之に適應すべき機械の發明を促し、整形外科學校は其研究實驗所たると同時に機械製造場となれり。

一、負傷者の職業學校在學期間は一定せず。學科と各人の能力とにより自ら長短あり。短かきは八ヶ月、製靴業の如きは十五ヶ月乃至十八ヶ月、建具及土木の職業に至りては平均一ヶ年若くは二ヶ年學校に於て其の科程を修めざるべからず。

一、在校者は一定の修業期間經過後試験委員の試験を経るを要す。試験委員はジョツフル學校に關係なき各學科の専門家より成り、該委員の交付する卒業證書は雇主に對して確實なる技術上の保證となるものにして、卒業者は何れも百五十法乃至二百法の月俸を以て直ちに大工業家内に於て相當の職務に就くことを得たり。

行政上より見たる職業學校の地位

行政上の方面より觀察すれば、現今里昂市に於て經營せらるゝ二種の職業學校は、市立病院と同視す可きものにして、其學校の收入の主要なる財源は里昂市經營事業の中央金庫より來れるなり。市立病院に在る陸軍の代表者は他の市立衛生機關と均しく該學校を衛生部の所屬となせりと雖、學校の名稱病院と異なると同じく其設備の目的に於て兩者は全然異なるものなり。

職業學校に入學者の資格

職業學校に入學者は既に醫療の時期を經過せし者にして、學校の門戸を潜ると同時に彼等は新らしき生活に入り、恰も一人の人間の出生せんとするに異ならざるなり。右の負傷者は四肢の一を失ひたるが爲從來の職業を去らざるを得ずと雖、公衆の憐憫を引く可き悲哀なる戦時の遺物狀態に永く其身を留むるを欲せず。幸にして恩給の爲餓死を免がるゝも之に満足するを得ずして更に欲望を懷き、再び開運の途を求めんとするなり。彼等は再び社會に出で單に其不幸より得たる地位に甘んぜずして、自己獨立の勤勞努力に依り相當の地位を獲得永く其地位に留まらんことを欲するなり。而して彼等に再生の途を與へ其個人性を確立せしむるものは即ち學校なり。故に病院は既に過去の思出でに過ぎずして、醫師は將に彼等の未來を準備せんとする教育家に其地位を讓る可きなり。

ユリオ氏の
救済策

戦争の爲實際上及び社會に立つの便を失ひたる者に對して、其地位を授けむとの苦心は實にエリオ氏が其名譽を轟かしたる考案の一なりき。同氏は嘗に名譽ある負傷者に對する同情の趨勢に呼應せしのみならず、彼等に對して起れる各種の問題の輕々看過す可らざる所以を察し、彼等負傷者の状態が市民社會に生ぜしめむとする責任如何を熟慮し、遂に該問題解決の途を研究したり。同氏は先づ其救済策を新聞紙上に掲載して輿論を喚起したりと雖、徒に其理論を唱ふるのみを以ては足れりとせずして、直に其考案の實行に移りたり。因て同氏は千九百十四年十一月三十日に市會を招集し、負傷者の爲開設せんとする職業學校創立案を審議せしめたるに、市會は何等の異議なく原案を可決したるを以て直に其實行に着手したり。

舊皇族の
城砦を職
業學校に
改造す

里昂市役所は嘗て市區改正事業を實行せんが爲、ギユイオチエール街にある舊皇族の住宅を買収せり。此舊城砦を一見するときには中世の建物の外觀を帯ぶる所尠からざれば、之を負傷者の學校に改築するは頗る至難なるが如く又螺攀梯子は到底義足を以て昇降す可らざるが如し。然れども此の如き技術的の故障は決してエリオ氏の意志を挫折せしめず、同氏は直に其建物の改造を命じたり。其後大工事の竣工を待たずして最初の負傷者を收容せしが、彼等は泥工・大工・及畫工等が如何に彼等の最愛の避難所を準備しつゝあるかを目撃するの慰安に満足せり。尙同氏が一日該學校を視察せしに、一名の外科醫が寢室内に在りて人身補足具の製作を試みる者あり、或は鑄鉛工の洗面器を据付くる者あり。又負傷者中花園の彼方にある一列の破損せし建物を工場に改造せんとする工事に助力せる者もありき。

學校に勇
將の名を
附す(ジョ
ヨツフル
學校)

昨日までの猛卒等に斬新なる職業上の再教育を施す設備に驍將の名を附するも、決して其偉名を汚辱することなかる可し。因て里昂市會は千九百十五年九月十三日の會議に於て、直にジョヨツフル將軍に對して該設備の命親とならんことを懇請せしに、マルヌ縣の戰勝將軍は忽ち左記の返翰を市會に送り、其懇請を快諾せられたり。
拜啓 貴下の好意に依り組織せられたる負傷兵の職業學校に、余の姓名を附せんとする貴下の親愛す可き意見は深く余を感動せしめたり。

這回の戰爭中里昂市が慈惠的赤心・工業上の活動及愛國的信用の實績を擧げしや快して尠少ならざるなり。

故に余は里昂市が率先して負傷者に斬新なる職業を教授し、更に國家に仕へんとする方法を與へらるゝは、斯くある可き事と思ひ毫も怪まざるなり。

貴下の親愛す可き懇請に對する余の快諾は、如何に余が此の如き鴻益ある事業を尊重する乎を證明するに足らん。

又余の快諾は勇猛なる兵卒に對し余の深厚なる同情の證據とならん。余は彼等が其創痍を名譽とし再び社會生活の趣味を感得し、遠からずして壯麗なる都會に歸り、戰勝の同胞に交接せんことを慶賀せんとするなり。

市長よ冀くば余の無上の謝詞と、忠誠なる感情とを嘉納せられんことを。

敬具

千九百十五年九月二十四日東軍大本營に於て

ジョヨツフル

里昂市長殿

第二の職
業學校創
立

ラシエー街に在る學校の百人の座席は忽ち満員となり、若し職業學校の事業を最初の豫定の範圍に止めば其事業は餘に華美に過ぎ、其成功も亦顯著に過ぐるものあるべし。爾來收容を請求する者間斷なきも、果して市長は之を拒絶せんとせしか、否市長は斯の如く残忍ならずして第二の職業學校創立の準備に汲々たりき。里昂市廓外の西端に當り、フルヴィエールの丘陵を距て、ツールヴィエールの高原あり、同地の面積は七エクタール(一エクタールは我(一)町一畝弱に當る)にして其中央に何等技術的裝飾なき廣大なる建物あり。元來此の建物はミニム學校の附屬建物にして、夏季に至れば同校生徒は此の原野に來り、鬱蒼たる樹蔭の下に於て娛樂に耽りしが、里昂市長は好機に驅られて其土地を買収することゝなれり。其建物たるや破損の箇所多しと雖、素朴の風致に富み四圍の風景絶佳なれば、該高原の滞在が負傷者の精神教育及其體育上に幾多の利益を及ぼすは敢て言を俟たざる可し。やがて右の破損建物は或は之を分割し、或は之を高くし、或は之を近世式に改め、終に快活の建物となりたるを以て數隊の職工を此所に收容したり。假令該建物は外觀の優美を缺くと雖、其内部は清潔を

極め、室内は純白にして光線の透射よく陽氣室内に溢れ概して新築の如くなれば、其外觀の美の缺乏を補ふに足る可きなり。

今や其事業の實行に移らんとするは頗る急務にして、速に工場の開始及職業上の教育を必要とし、徒に周囲の事情に拘泥せずして、職務再教育の原則に基き適切なる教育法を定めんとするに躊躇せざりき。其事業の大體の計畫は既に確立せられたるや敢て疑なきも、其實行方法に至りては經驗上の確實なる指示に俟つの外なきものにして、之を要するに此の如き問題は決して輕々に解決す可きものに非ざるなり。

バゼイク氏職業學校の科目を定む

戰亂の變遷は元シヤル・ローア職業學校の教授にして目下ノール府職業紹介所幹事バゼイク氏を里昂市に招致したり。同氏は労働事故の犠牲者に適切なる職業問題に能く通曉せる人にして、職業學校警務長に任命せられたるカル、氏と協力し、始めて該校の學科目を定めたり。負傷者の職業選擇の方面を見るに概ね事務員の方面に傾きしが、職工及農夫の如きは往々小學教育より得たる貧弱なる知識を有するに止るを以て先づ彼等に授くるに普通教育を以てし、傍々開校當日より直に會計事務速記術及タイプライター術の教育を開始したり。該校生徒に付きて一例を擧ぐれば、初期の生徒中に一名のアルサース人あり。同人は元大工業を職とせしが從軍を志望し、終に右腕を切断せられたり。因て其後左手にて執筆することを學びたるに忽ち成功したり。右の學科に於て隣時に擧げたる顯著なる成績は該校學科の組織を確立擴張せんことを促し、終に英語のみならず露語の研究をも加へ以て其學科目を補足したり。

志望者最も多きは製靴業なり

開校以來最も多數の應募申込ありたる職業は製靴業にして、舊來の農夫も一脚若くは二脚を失ひたるを以て、熱心に絲及獸皮を取扱ふことに従事したり。然るに多數の農夫は數週の練習の後には得々として其製造したる靴を携へて來て示せり。假令其靴は極めて美麗ならざるも、彼等が其製造術に於て成功するに著しき能力を有することを證するに足るものと云ふべし。該事業の發展は頗る顯著にして、最初該學校の創立せられたるはラシー街なりしも、幾何ならずしてツールヴェールの廣大なる建物内に移さざるを得ざるが如き状況なりき。

仕度職

仕立職希望者の稍々少なきは全く其の見習期の長きに起因するなり。然れども其希望者も亦決して不足を告げず、其最多數は從來農夫たりし者にして新來の製靴職工の如く遂にツールヴェールの設備に收容せられたり。

園藝業

隻脚若くは隻腕を失ひたる者が果して能く土地の事業に従事するを得べきは世人の疑問なりしが、ツールヴェールの領地に於ける實驗に徴するに彼等は園藝事業に成功し、將來花卉栽培師、草花苗床師若くは野菜園藝師となりて其身を立つるを得べく、而して其廢止は別に理由の存するが爲に非ずして、全く其志願者無きが爲なり。之に反し意外の事情は製本工場設立の結果を生ぜしめ、不具者は該工場に於て美麗なる書冊を綴製するの術を學ぶことを得たり。

製本業

又該校には木工・唐木工及工業上の圖案科を創立し、以て多數の要求に應じたり。

玩具製造場の設立

該校の最も盛大なる根本的事業は玩具製造場の創立なり。抑々玩具に關しては從來佛國が如何に獨逸國の覇權に屈從せし乎は世人の周知する所にして、今や自國の物産を以てニンベルヒ市より佛國に輸入する物産に對抗すべき時期到來せりと謂ふ可し。蓋し該工業は佛國人種の親愛す可き趣味嗜好と、發明に富む能力とに因りて頗る發展し得可きを察し、里昂市は該工業を激勵せんことを欲せり。

負傷者の手裡より出生せし最初の見本即ち木偶人兵卒・船舶等は余輩をして負傷者の精巧と其手腕とに期待せしむるところ大なるものあり。負傷者の大成功は愈々其製造業を發展せしめたるを以て、ラシー街の工場は餘に狹隘となり逐次の増築は到底充分なりと云ふを得ざるに至れり。最初里昂市に起せし實業教育事業は恰も胎子の如く微弱なりしも、一度技術家に變じたる戰時不具者をして、夥多の資力を費し秩序整然充分の努力を果さしめんとするには、廣大なる工場を起すの計畫を立つるも敢て無謀の策にあらざるべし。右の技術家が散じて他の諸市に群居するに至らば、是等の都市は續々玩具産出の中心地と化すべく、果して右の事業が佛國の重要工業の一種となり、佛國をして獨逸國の束縛を蟬脱せしめ經濟上の勝利は更に他の勝利を招致することゝなるに至らば、蓋しジョツフル學校は決して其名に背かざる可し。尙二種の新事業は更に負傷者の活動す可き範圍を擴張せしが、其功績は全々里昂市新任警務長ヴギユ博士に歸す可きなり。其一は無

無線電信部の創立
整形外科醫術部の創立

線電信部の創立にして、千九百十五年十二月以來十五名より成る生徒の一團は、里昂市無線電信本部長ベリー少佐の指揮の下に、其助手の援助を受けて該業に従事し、千九百十六年一月末以來更に同數の一團を之に加へたり。

第二は整形外科醫術事業の創立にして、之を慈惠院外科醫ノヴジスラン博士の指揮の下に置きり。右の事業は戦争以來極めて旺盛となり、殊に該事業は負傷者に採りて利害關係淺からざるが如くなるを以て、負傷者の爲安全なる生活の途となれり。然れども近時ツールヴェール街に該事業の爲別館を建設し、該事業を職業學校の教科に編入せしは全く其他に猶一種の理由の存するあるなり。即ち今回の戦争は整形外科醫師をして往々未だ經驗せざりし場合に遭遇せしめたるを以て、戦争は學術の進歩を促し、未だ見聞せざりし病害及變體等千差萬別の病狀に適應す可き機械の設計を彼等の敏腕に待つこととなれり。ツールヴェール學校に於てノヴジスラン氏及其贊助者が鋭意従事するは全く其調査なるが故に、整形外科學校は其研究經驗の實驗所となり、併せて顧客を失ふの危険なき機械製作の中心地とならんとするなり。

斯くの如く該學校の科目は殆ど事物自然の趨勢に依り組織せられたるものにして、其方法は全く經驗に基くが如し。從來理想上に於ては各種の事業を計畫し之が成功を切望せりと雖、之を實行せんとするときは其理想の多分は虚妄にして其事業の永續せざることを認めたり。然るにジツフル學校の計畫は經驗に基き確定せられたるのみならず、確固たる基礎に基き創立せられたれば、該機關は振に事業の擴張に苦惱せずして、主として實際的の方針を採り謹慎して其範圍を定めたるを以て、其任務を遺憾なく果すに餘ありき。

職業學校
入學の必
要件

負傷者職業學校に收容せらるゝ爲必要なる肉體上及精神上の條件は上述兩職業學校最初の醫務長たりしカル、博士の小冊子中に明にして、一肢を失ふも未だ以て之を收容の名義と爲すに足らざるなり。先づ負傷者が創傷の再發若くは其他の災害を怖れずして労働に従事し得るを要し、本人の性質、慣習及其精神狀態は其收容上緊要なる理由にして、本人が教へられたる自活の方法を利用せんことを切望し、且其方法を利用するに足るべき能力を有することを要するなり。校則に違反するときは其輕重に従ひ制裁を受く可く、其輕きは禁足にして重きは放校に迄至るなり。

被收容者

の校則違
反に對す
る制裁

既に兒童の域を脱し且怖る可き戦争を経て成熟を遂げたる成年者に對し前述の校則は少く嚴酷に失するの傾もあるも、學校の本人に授與する莫大なる利益は、其嚴罰苛刑を賠償して餘あり。該校は嘗に負傷者をして獨立の品位を恢復せしめ、各自の勤勞に依りて自活するの途を授くるのみならず、負傷者を學校に收容せる間も該校は本人の享有する幸福を増進する手段を講ずるなり。先づ最も注意す可きは、假令學校に收容せらるゝも本人は成規に従ひて給與せらるゝ恩給金の判奪又は其支拂の中止を受くることなきなり。恩給金の精算を結了せざる間は、各生徒は里昂市より日々一法の金額を收受し、又學校に於ける製造物品の賣却金は悉皆生徒の收入と爲し、之を各生徒間に平等に配當す。

在學期間
は職業の
種類に
依りて長
短あり

在學期間は其學科と個人的能力とに従ひ自ら長短あり。千九百十五年一月一日に學科を開始せし會計生徒の一组は、同年八月一日に一名の専門家を陪審官と爲し其面前に於て試験を受けしに、其試験は本人の希望せる職業の準備の既に遺憾なきことを證明し、其中十四名は百五十法乃至二百法の月俸を以て直に就職したり。又千九百十五年十二月末に學校を卒業せし第二回の卒業生三十三名に就ても同一にして、該生徒は卒業後八日を出でずして、前期生に劣らざる條件にて大工業家内に於て各相當の職務に就くことを得たり。

製靴業は其修了期比較的早く、仕立職は十五ヶ月若くは十八ヶ月間徒弟となるを要し、建具及木工の職業に至りては平均一ヶ年若くは二ヶ年を経ざれば、其科程を終了するを得ざるなり。試験委員はジツフル學校に關係なく、各學科に長じたる諸士を以て組織せらるゝが故に、該委員より交付する卒業證書は雇傭者に對し確實なる擔保を提供するものと謂ふ可し。故に雇傭者はラシエー街及ツールヴェール市に至れば、嘗に技術的能力の検査を経しのみならず、規律を嚴守し精神的努力を増進し必要と認定せられたる校律に服従する性格を發揚せし職工を直に發見せり。故に在校は彼等に採りては二重の裏書となるものと謂ふ可し。

學校は管
理委員之
を監督す

該機關は管理委員の監督に屬しエリオ氏は其委員長となれり。而して該委員の多數は工業家及醫師なり。カル、博士は最初該機關を直轄せしも里昂市外に動員せられたるを以て其管理はヴィギニ博士の手に移れり。而して博

職業學校の影響

士は兩校の警務長なるも市立病院に在りて殆んど兩校管理者の任務を果し、猶ほ醫療上の監督をも行へり。其他右の兩機關と陸軍官憲との連絡を維持するも亦同博士なり。

エリオール氏の激動、其確固にして定見ある管理教員諸士の技倆、巧に編成せられたる學科目、工場の顯著なる設備等、是等は即ち該機關をして有力なる活動を爲さしめ、且該機關をして極めて隆盛ならしむるに足る可き大體の條件なり。該事業の成功は實に遺憾なく遠近に傳播せしを以て、他の諸市に於て同種の事業を創設せんと欲するときは、必ず里昂市に來りて其の教訓を仰ぎ、該事業に關する資料の請求書は佛蘭西全國の各地方より集りて里昂市廳内に充満し、又各地の代表者は往々自ら現場に臨みて里昂職業學校の經營方法を研究し、多數の資料を携帶歸郷したり。負傷者職業學校活動の状況は深き感動を佛蘭西全國に傳播し、到る所に於て世人は國家防禦の爲身體の一部を犠牲に供したる者に對して相當の義務を約せりとの心を懷き、且公衆の感謝の念を現はさんとするに最も高尚にして且最も適當なる方法の一は、負傷者をして自己の勤勞に依る獨立の生計及幸福を恢復せしむるに若かさることを感得したり。里昂市は固より他の都市に對して戰傷者保護の爲にする職業教育の義務を慫慂せざりしや疑なしと雖、事物自然の趨勢は全國の都市に其職責を果さしめんとせり。然れども其事業創立の時期を顧み、或は里昂の職業學校理事者と他地方に於て同種の學校を創立したる諸士の間、に於て交換せし通信を閱覽するときは、假令其理想は空中に充満し、早晚他の地方に於ても實行を餘儀なくせられたりとするも最初に其理想を實現せしは里昂市なり。又里昂市の創業は夥多なる同種の機關を地下より涌出せしめたる單一の原因に非ずと雖、率先して其實例を擧げ汎く之を利用せしめたるは全く里昂市なることを承認せんを望むるなり。



昭和十三年三月二十七日 印刷
昭和十三年三月三十一日 發行

東京府學務部職業課

東京市京橋區築地四丁目四番地

印刷者 鈴木 茂

東京市京橋區築地四丁目四番地

印刷所 中屋三間印刷株式會社

